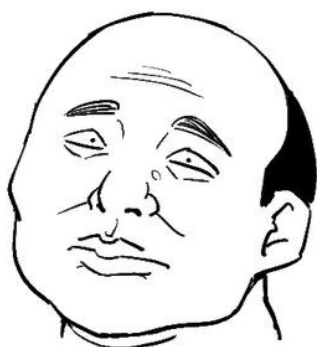


妻と義兄が
勝手にSEXしていた





内山美里
うちやまみさと



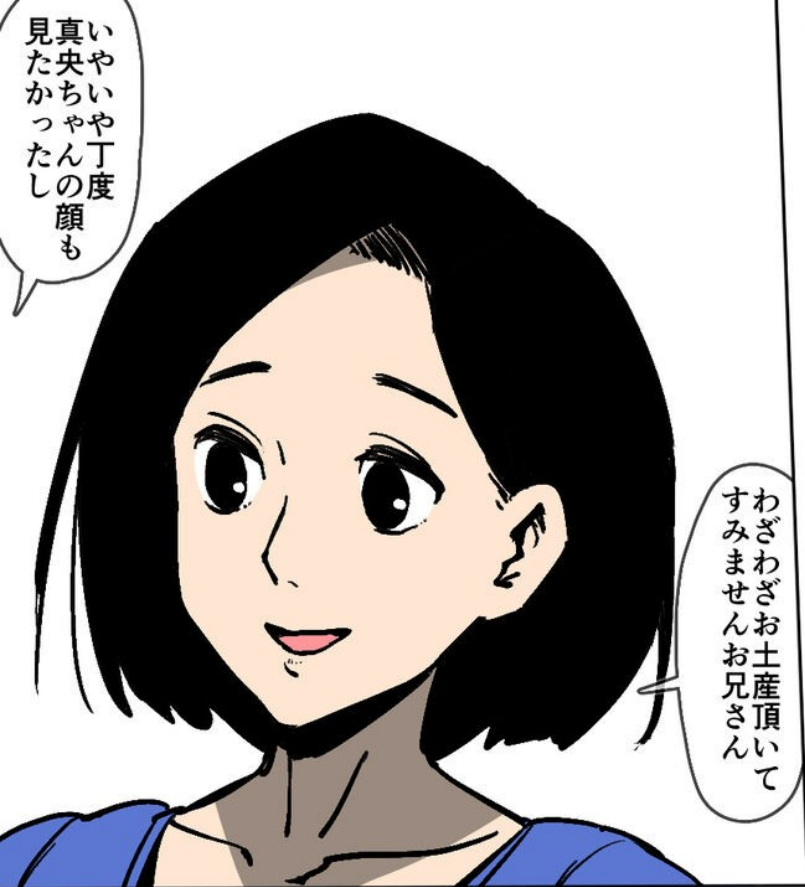
角羽信太
かくうのぶた

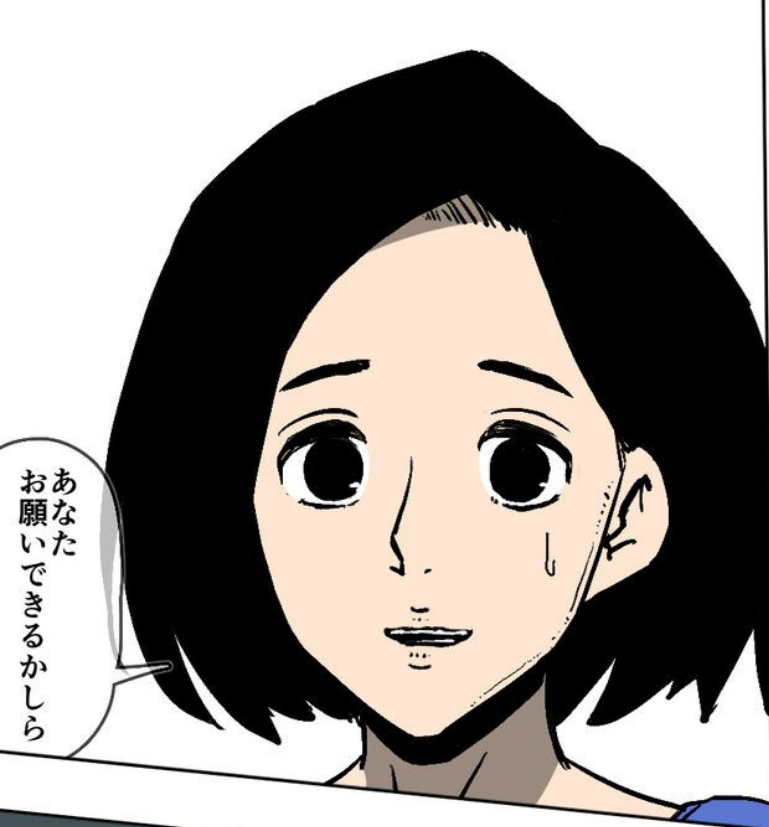


内山雅也
うちやままさや



内山真央
うちやままお



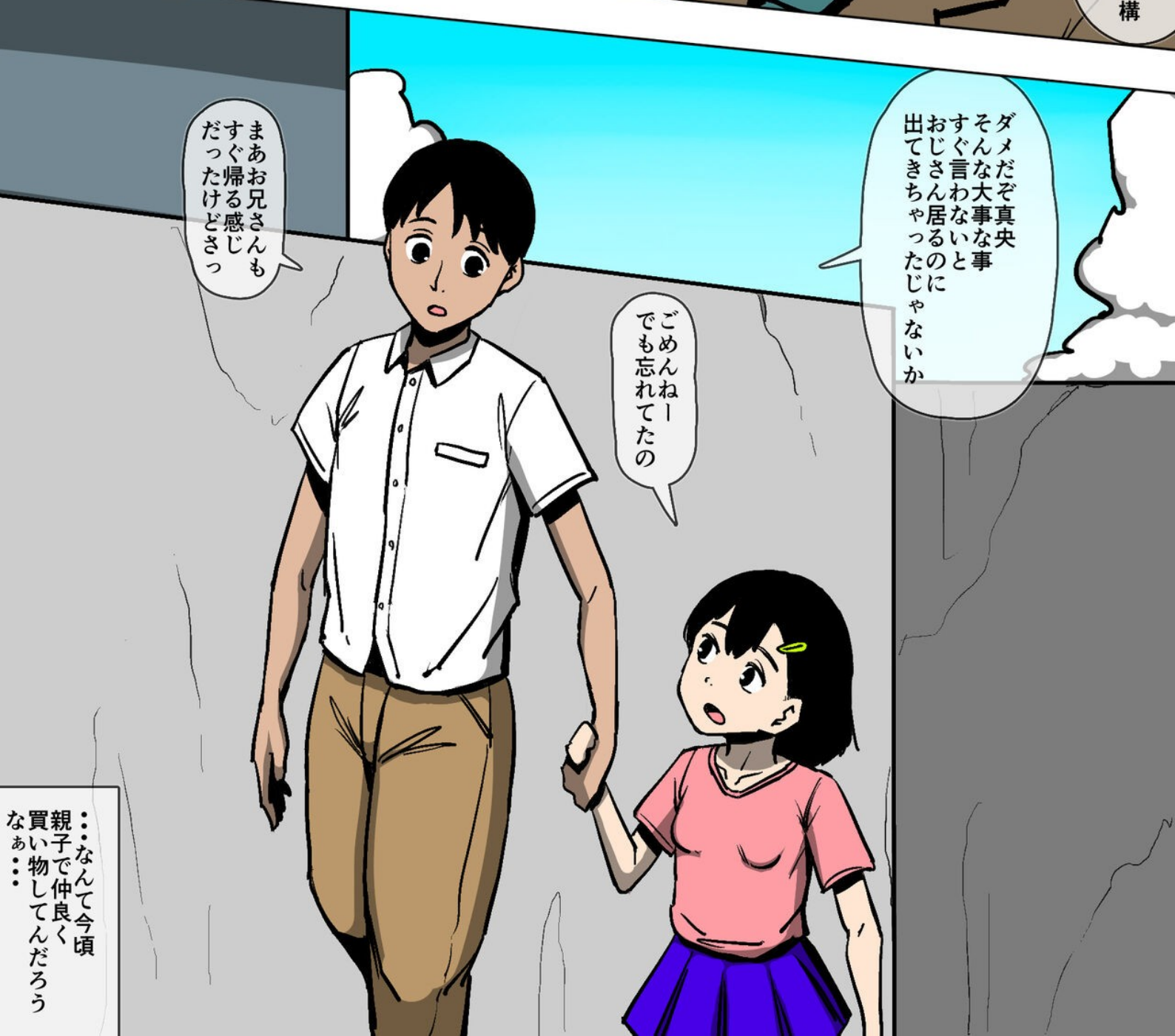


あなた
お願いできるかしら



私はこれ飲んだら
すぐ帰るので
真央ちゃんパパと
ノートかっておいで

美里さん空いた
茶碗洗って貰って結構
ですよ

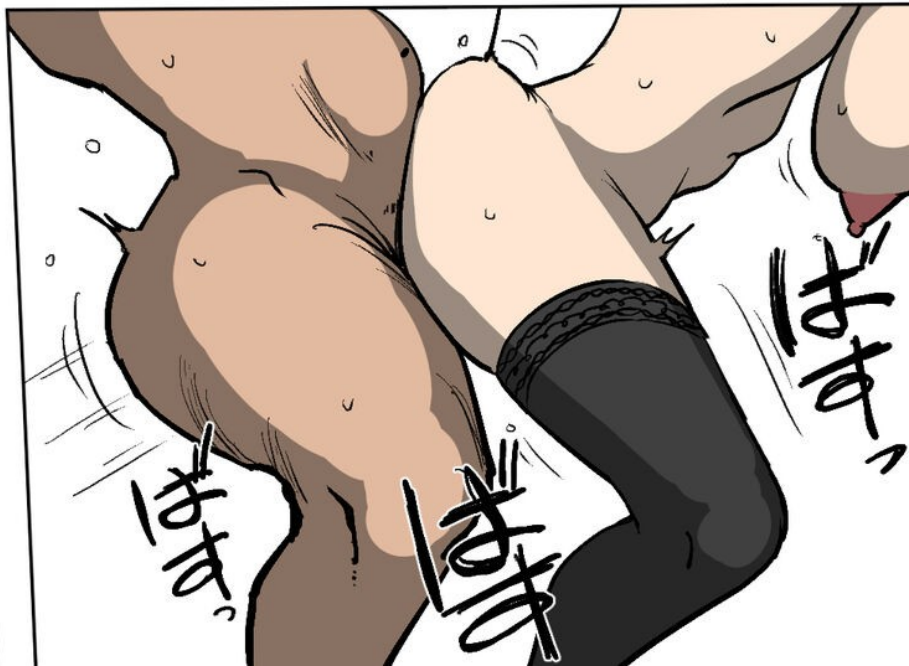
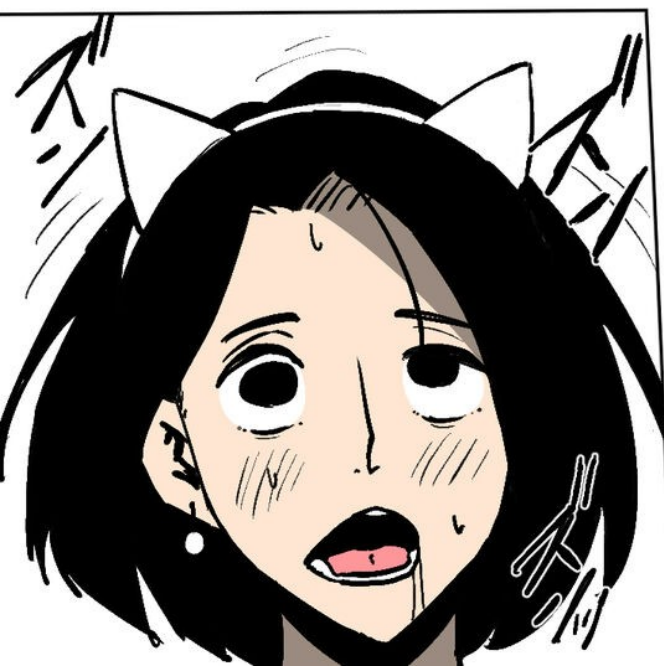
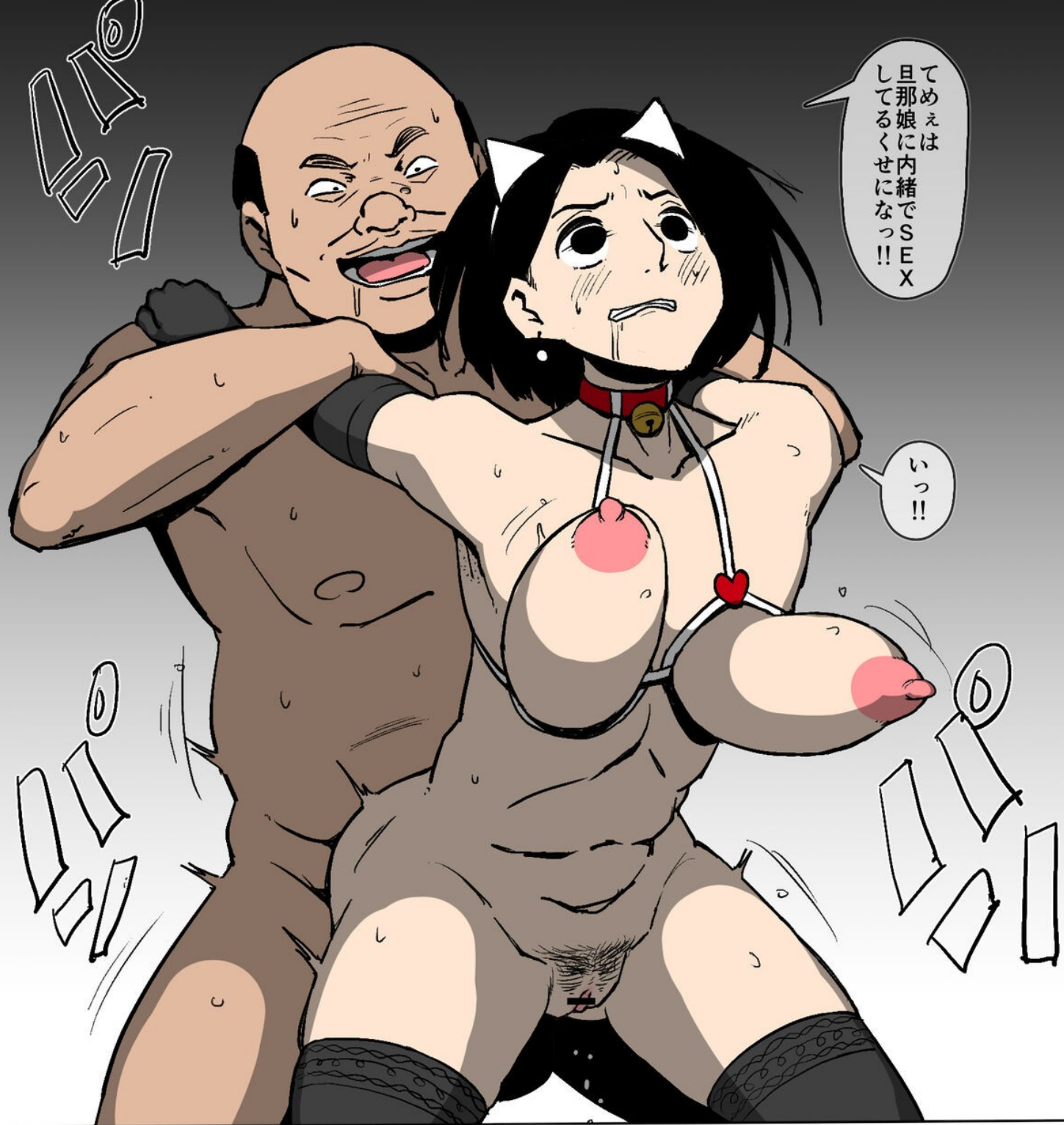


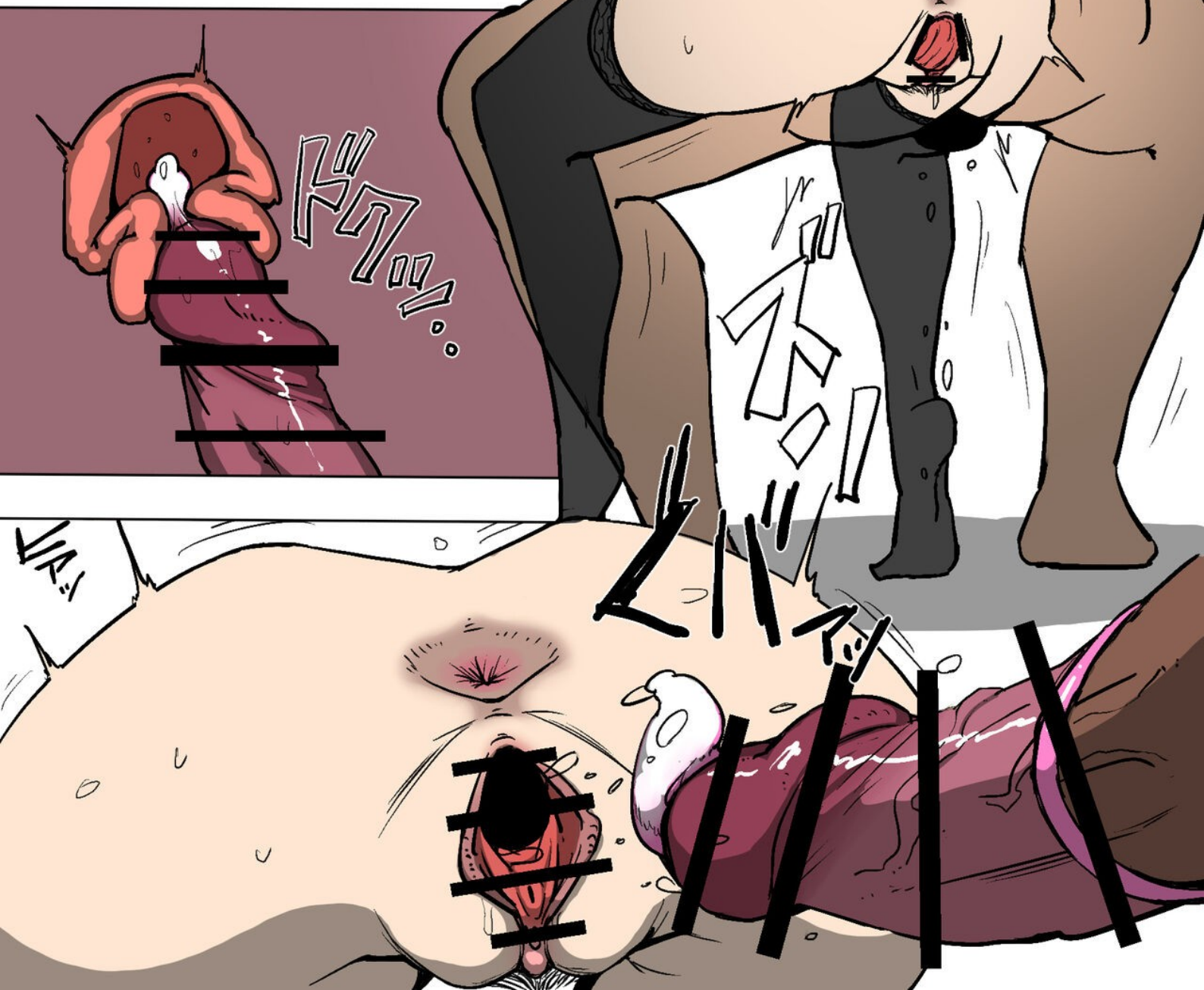
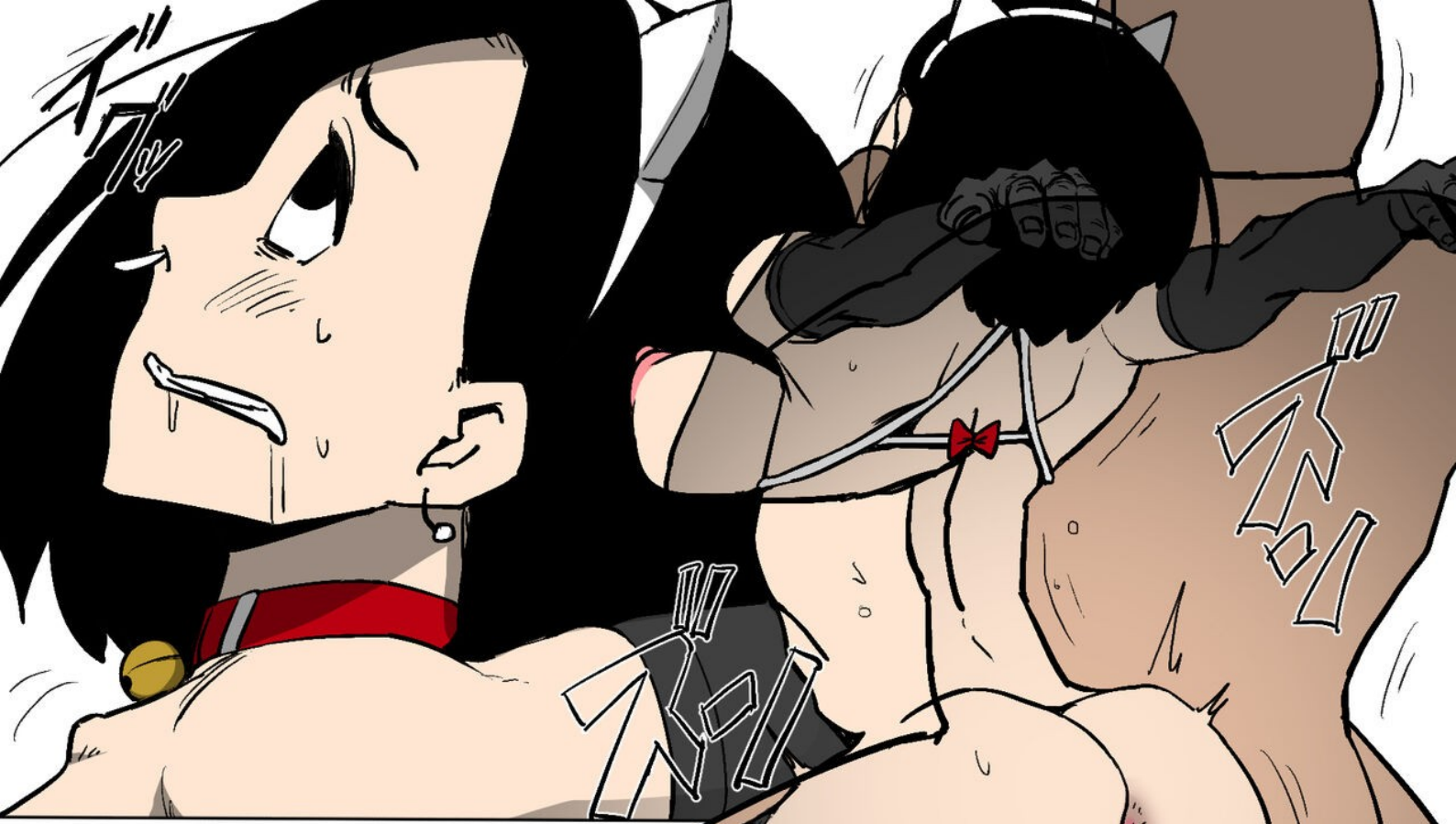
まあお兄さんも
すぐ帰る感じ
だったけどさっ

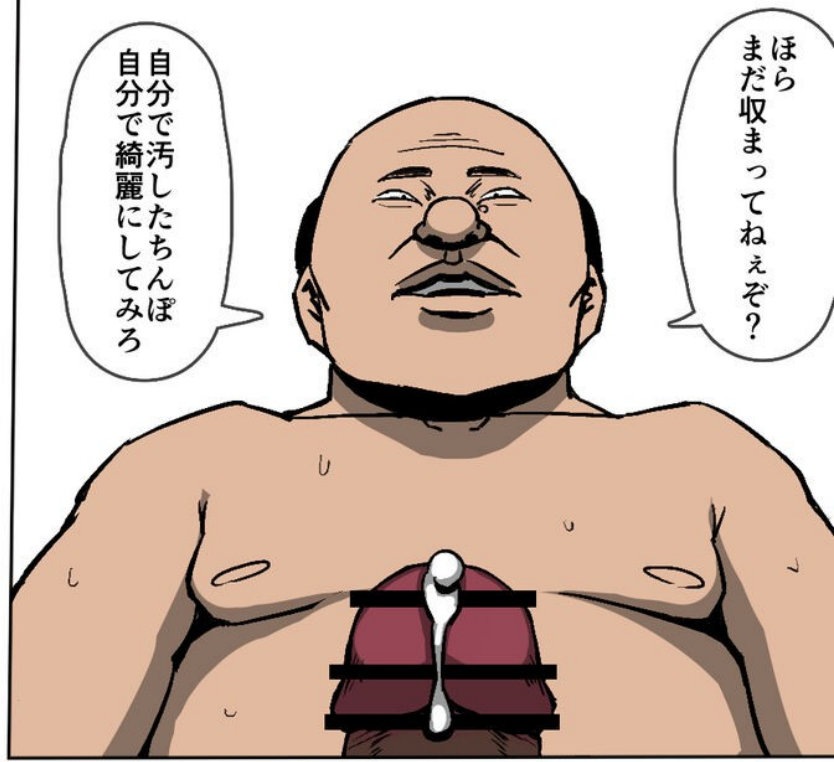
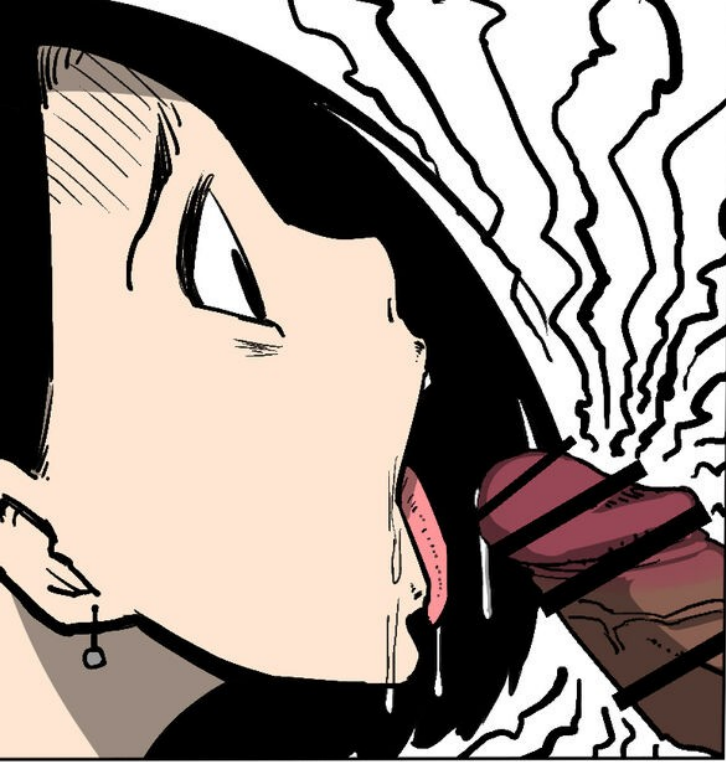
ごめんねー
でも忘れてたの

ダメだぞ真央
そんな大事な事
すぐ言わないと
おじさん居るのに
出てきちゃったじゃないか

：：なんて今頃
親子で仲良く
買い物してんだろう
なあ：：





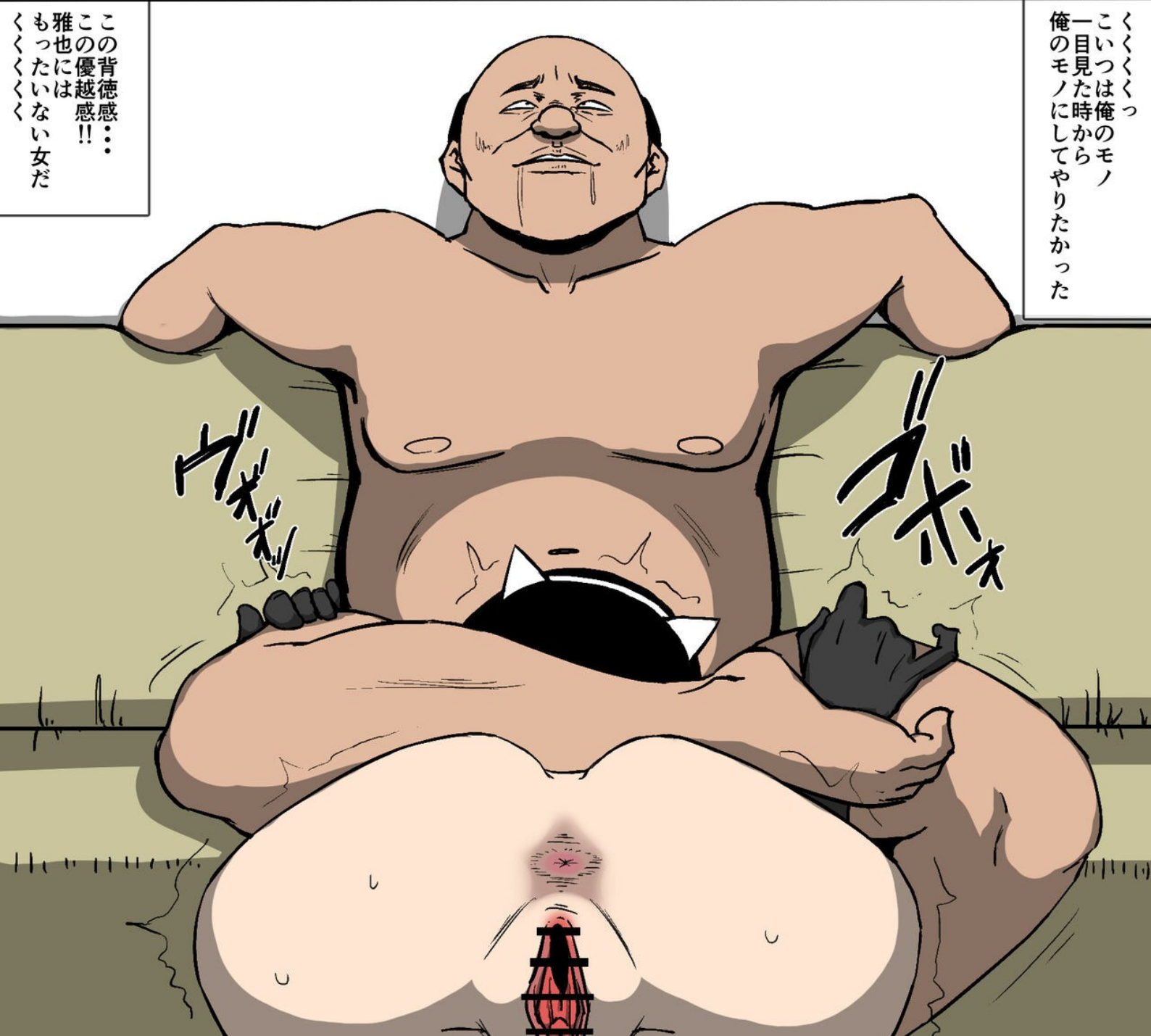


自分で汚したちんぽ
自分で綺麗にしてみろ

ほら
まだ収まってねえぞ？

この背徳感…
この優越感!!
雅也には
もったいない女だ
くくくくく

くくくくく
こいつは俺のモノ
一目見た時から
俺のモノにしてやりたかった



あれは数カ月前
俺が雅也の
帰りを待っている時だった



お茶を出したとき
姿を見せないと
オナニーをしてやがった

動画を撮って
散々説教をしてや
そこから肉関係
を迫った



そこから
内山家に行くたびに
隙を見つけては
不倫セックスを強要した

あつあの...
こうですか?

カシヤ

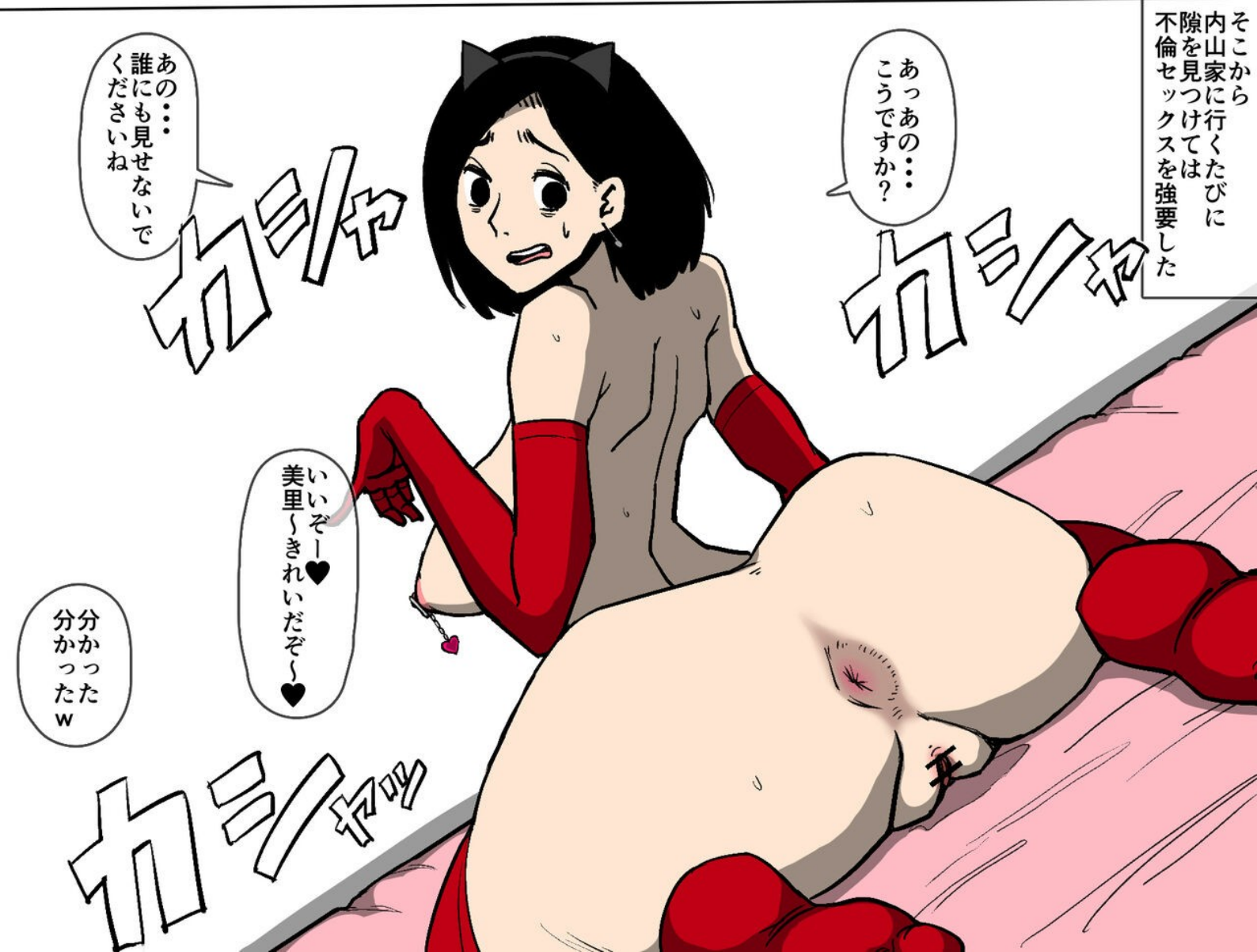
あの...
誰にも見せないで
くださいね

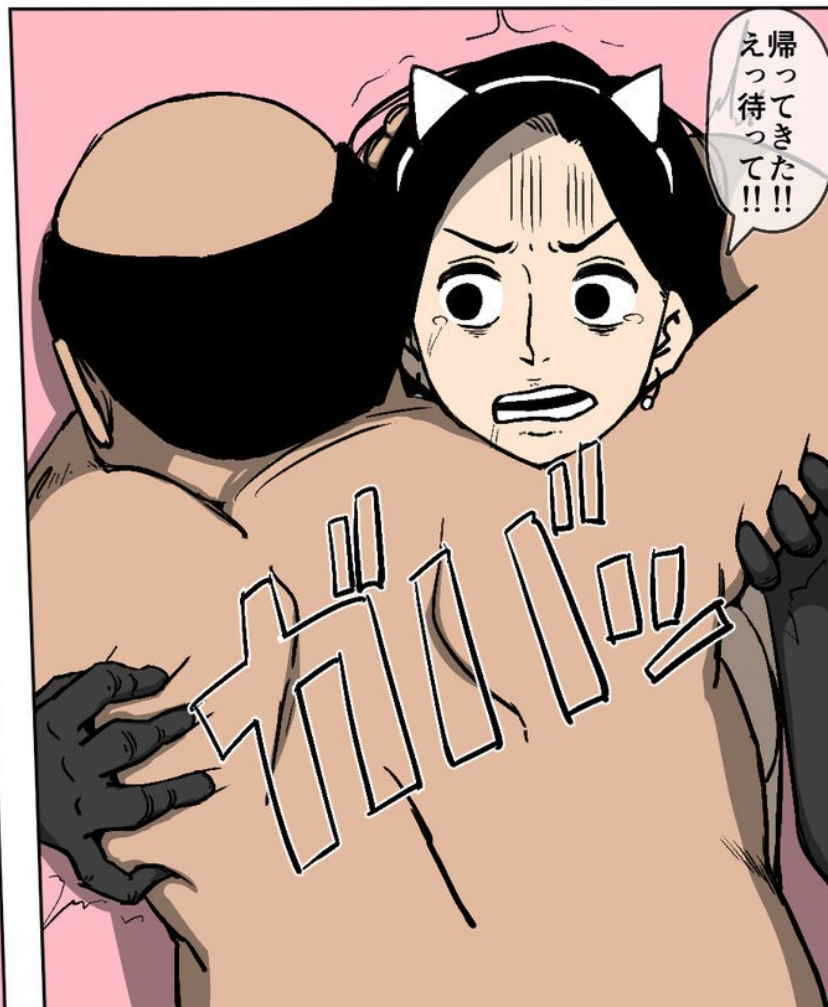
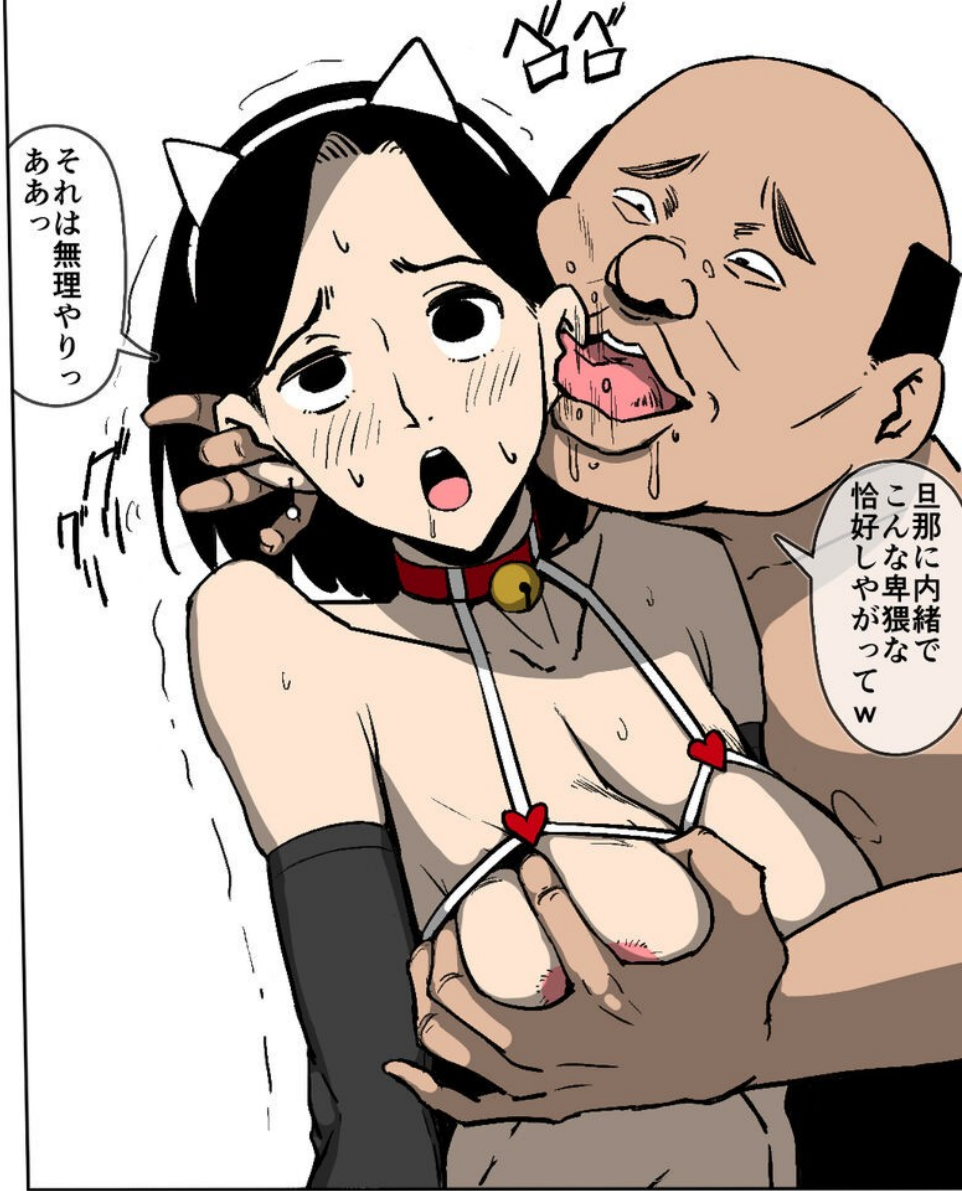
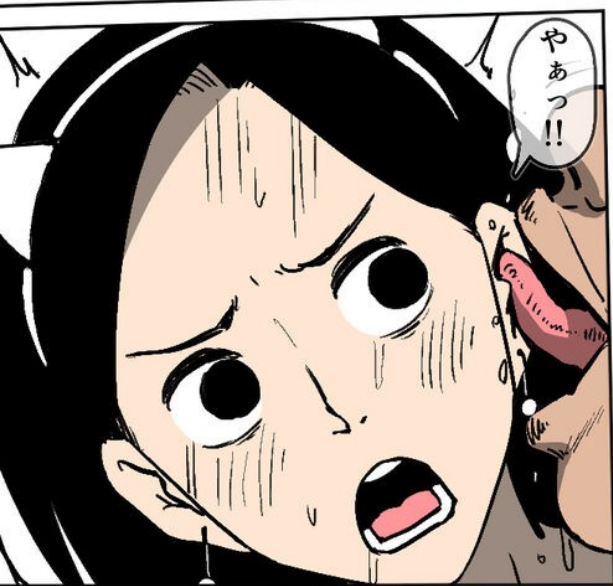
カシヤ

いいぞー♥
美里〜きれいだぞー♥

分かった
分かった
w

カシヤ





おーい？
お兄さん帰ったか？

ほん
ほん
ほん

中に出させろっ
そしたら
放してやる

中だしするぞ？
いいな？

出すぞ？
いいだろ？

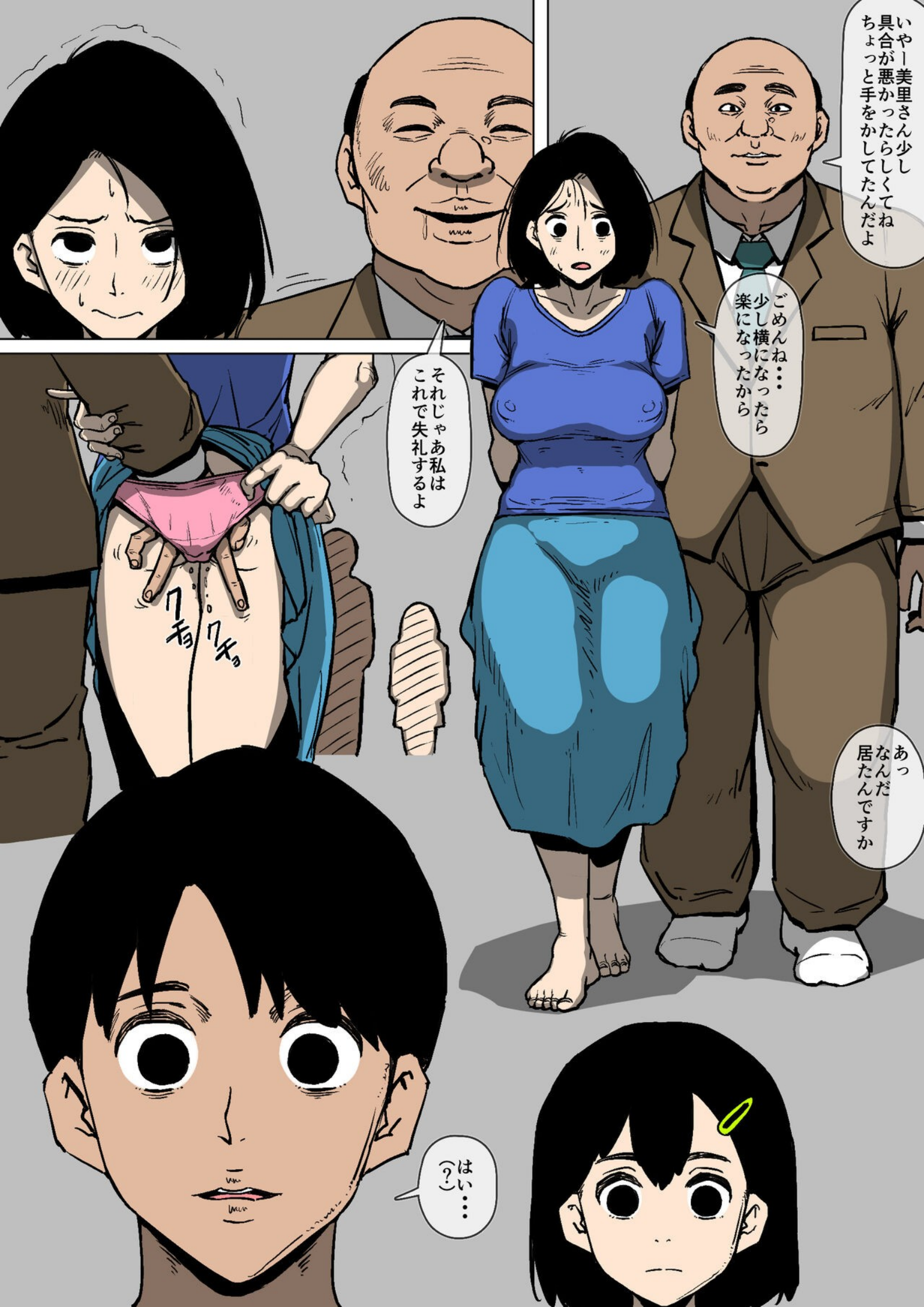
あっえっ

はい…

おーい？
美里ー？

くうううううう
出してやったぜ
雅也の声が届く場所で

あゝ…
とうとう
出された…



いやー美里さん少し
具合が悪かったらしくてね
ちよつと手をかしてたんだよ

ごめんね...
少し横になったら
楽になったから

それじゃあ私は
これで失礼するよ

あっ
なんだ
居たんですか

はい...
?

そして

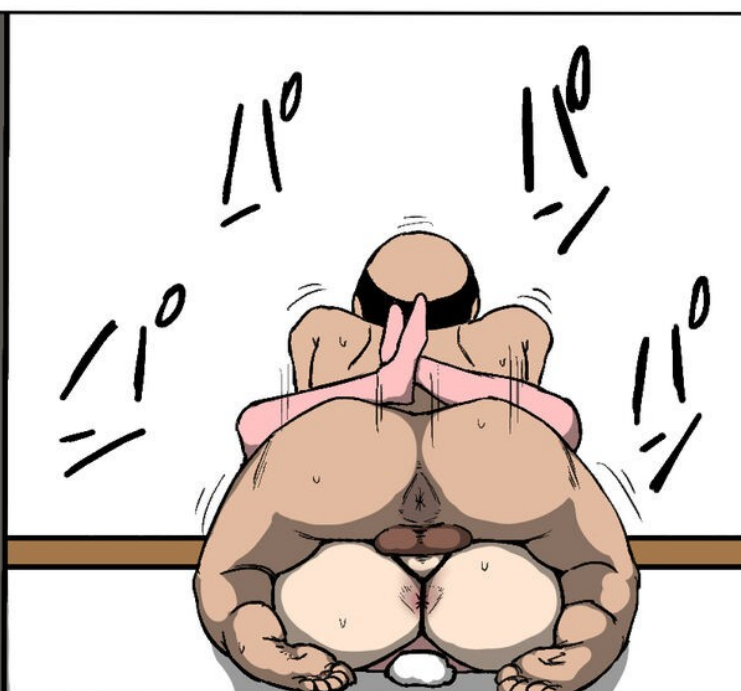
隣に
いるんですよ……

雅也はまだ
寝てるんだろ？



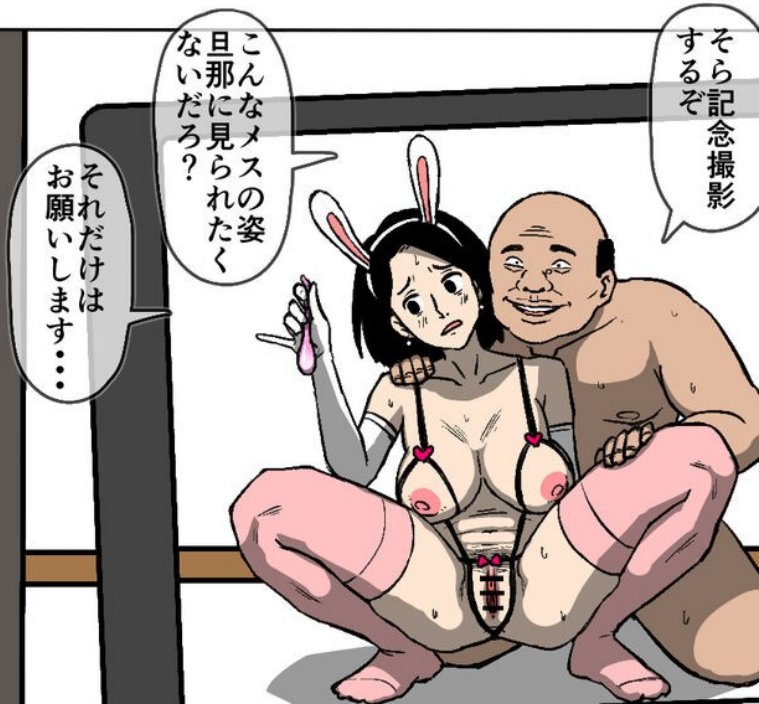
ねーパパア朝だよ
なんか隣
うるさいよ？
ママは？

んっ？
おはよう



ちょっと
見てくるから
寝てなさい

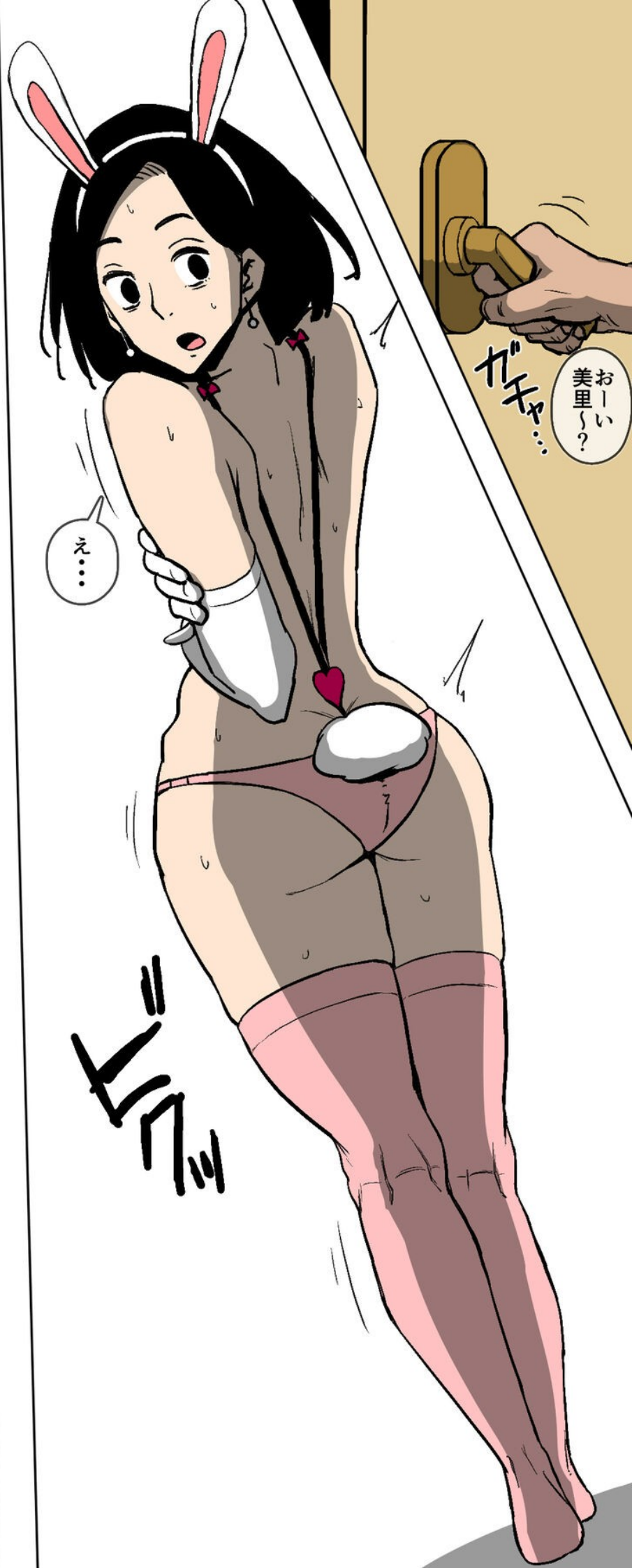
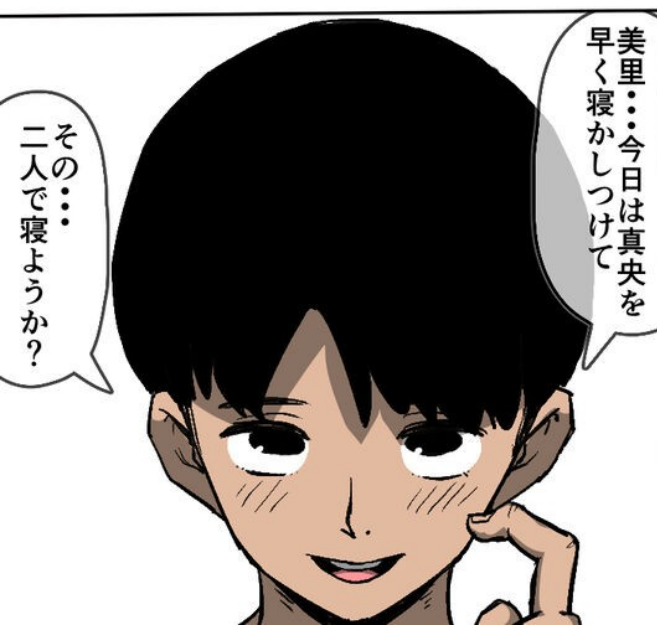
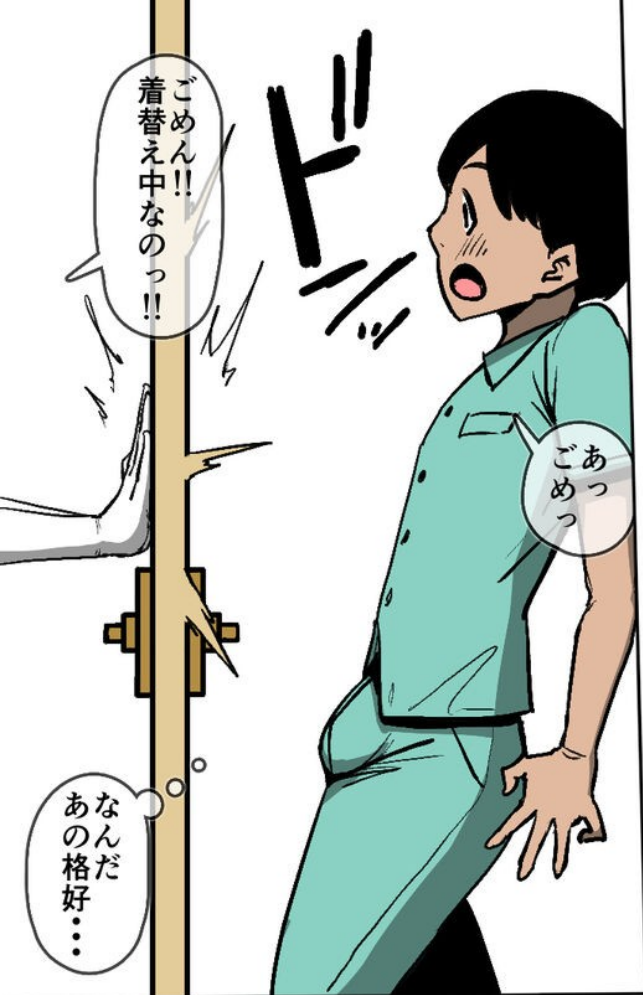
はい……

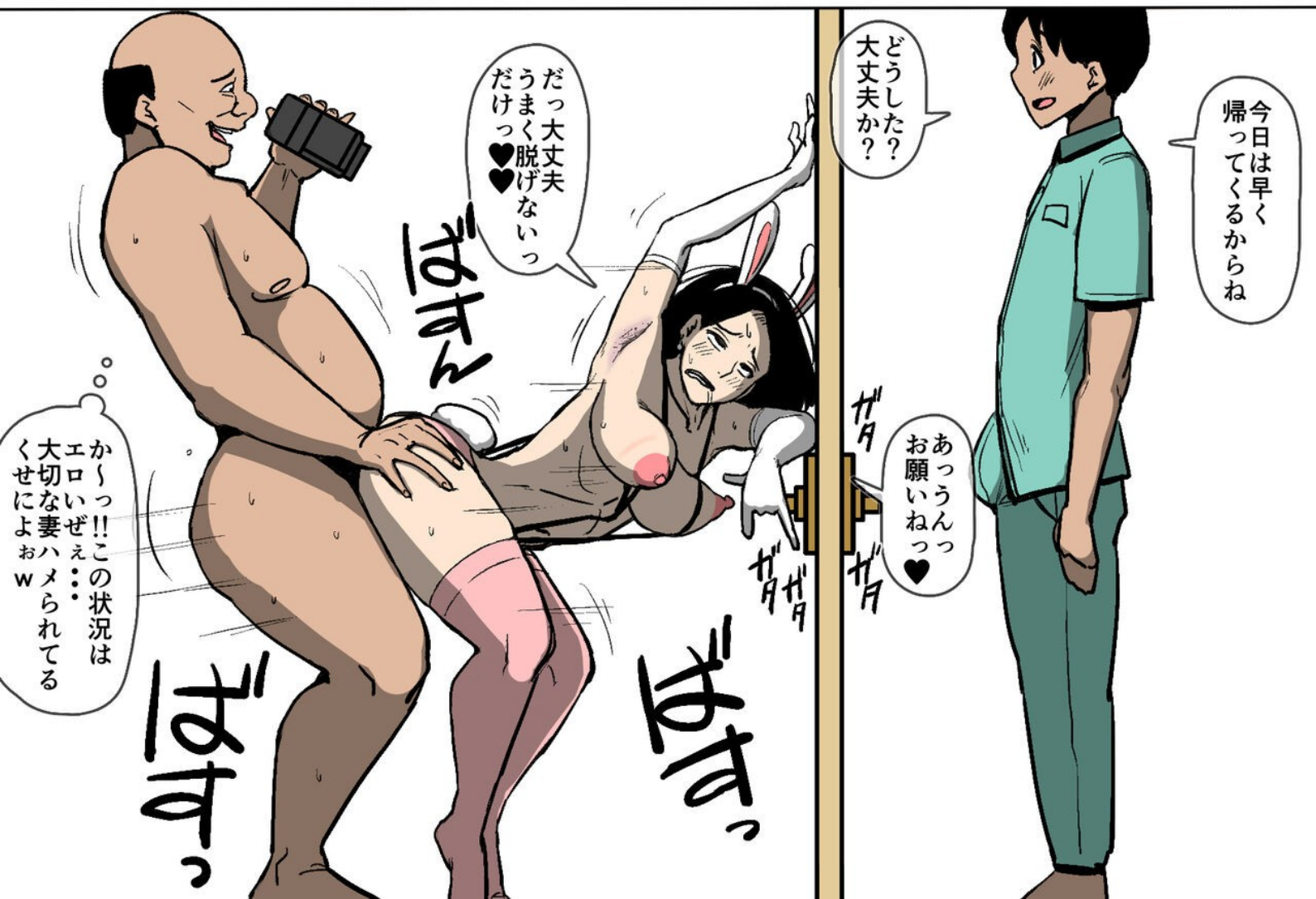
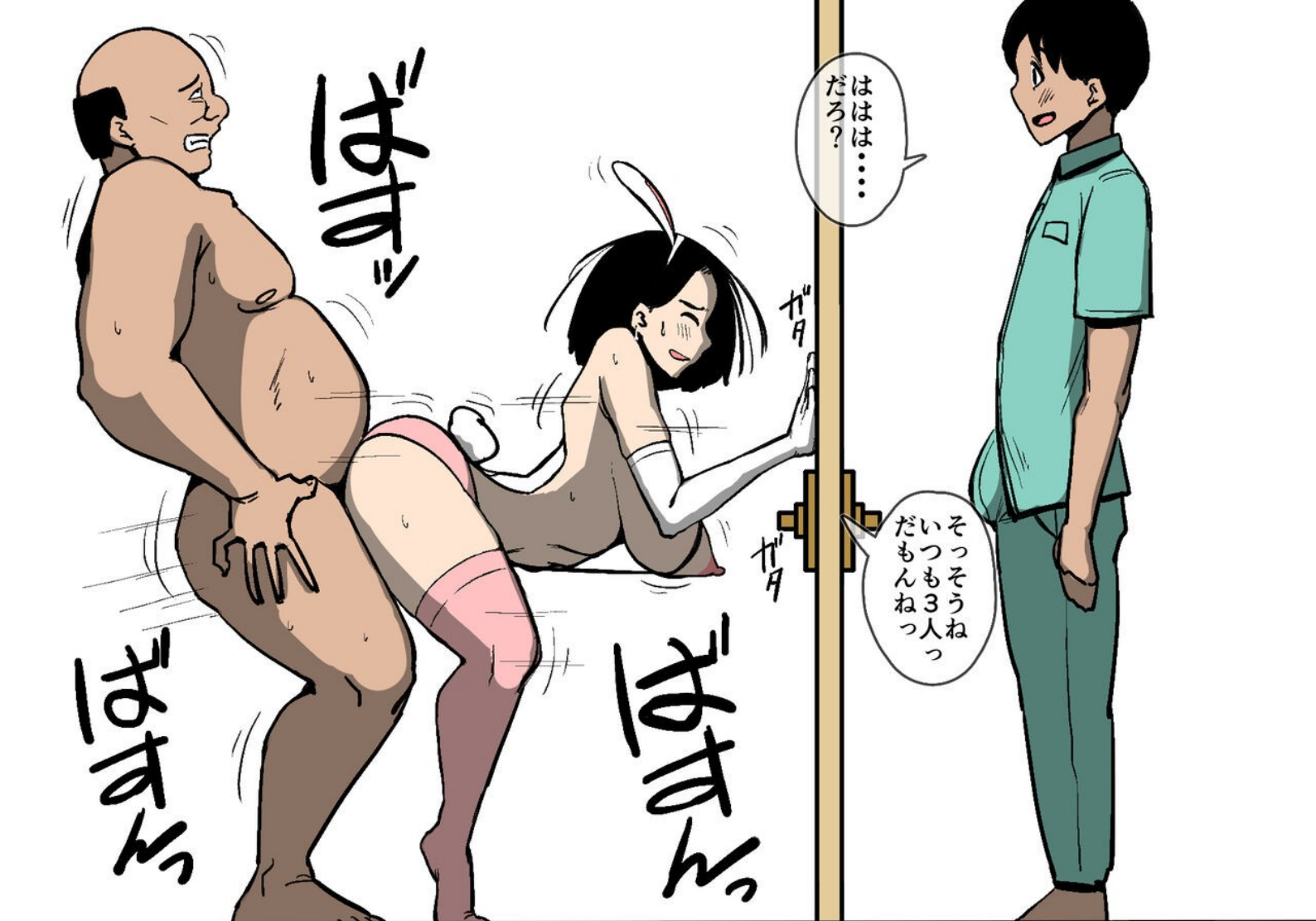


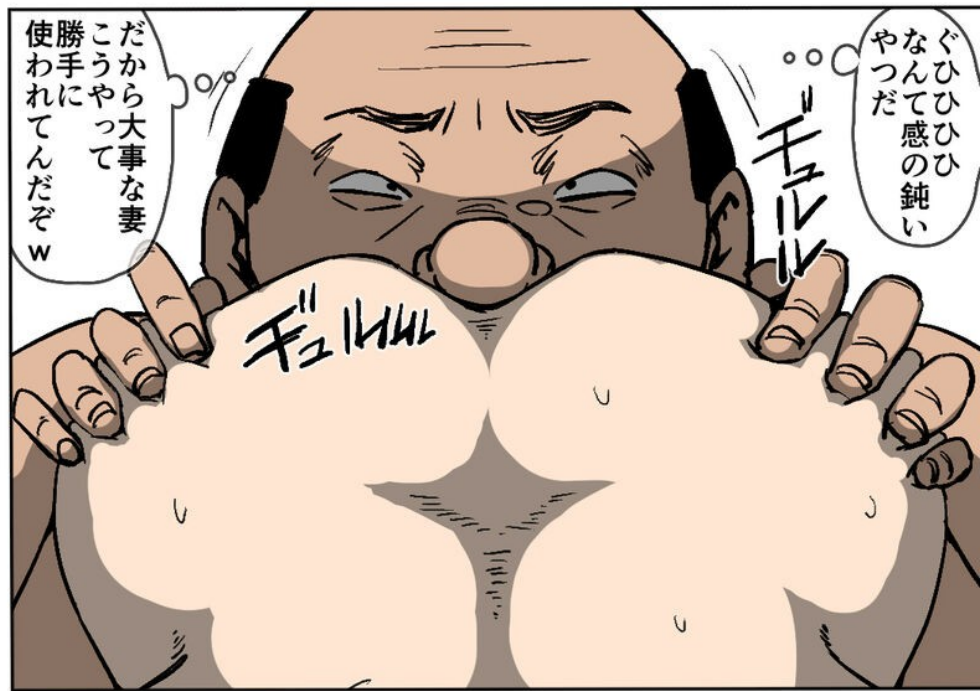
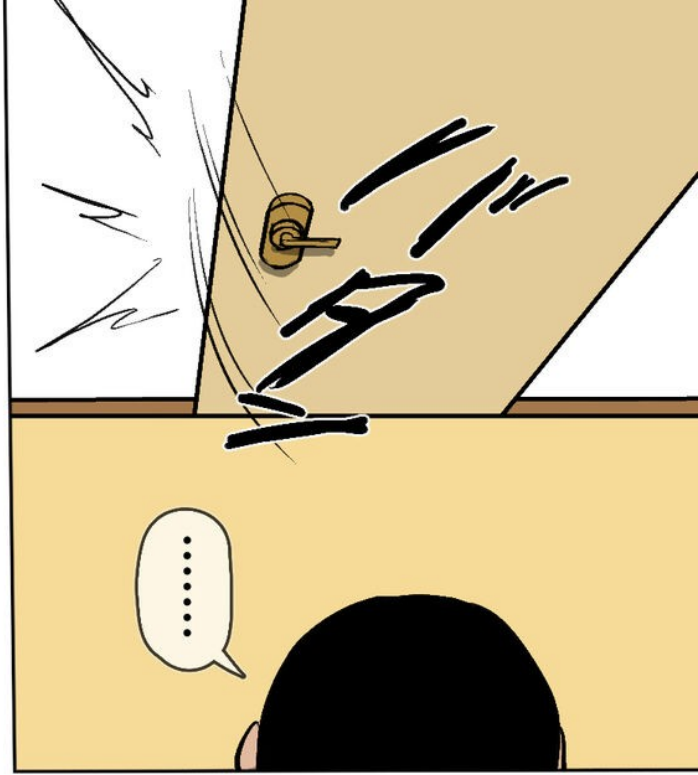
それら記念撮影
するぞ

こんなメスの姿
旦那に見られたく
ないだろ？

それだけは
お願いします……







そして

ただいまー

おかえりっ

うわっなんだあの顔…
美里も溜まって
たんだらうな…

はやく
あのお尻に触りたい

ガッガッガッ

ズズズ

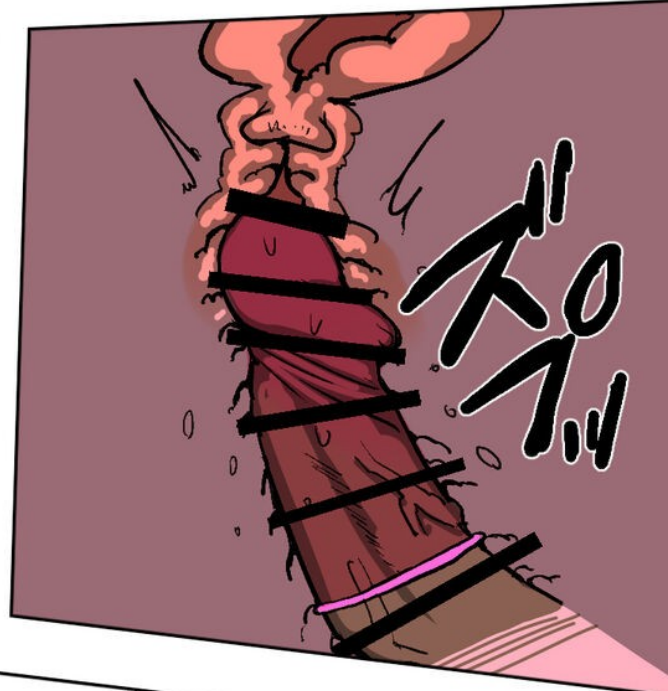
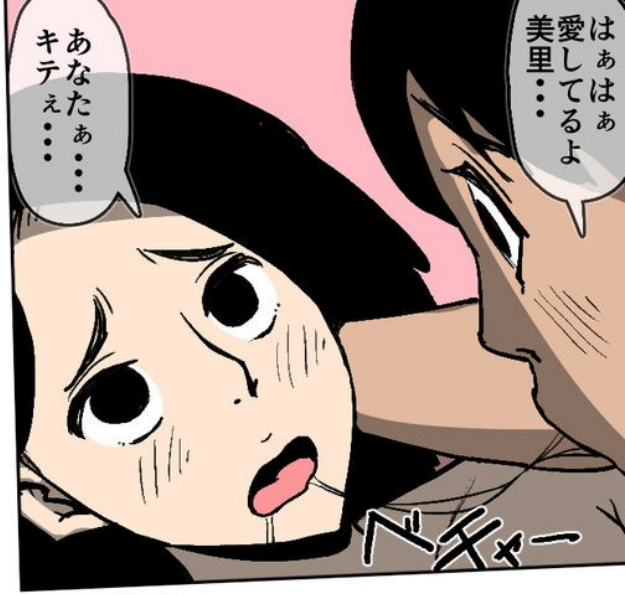
いやースッキリ
したー

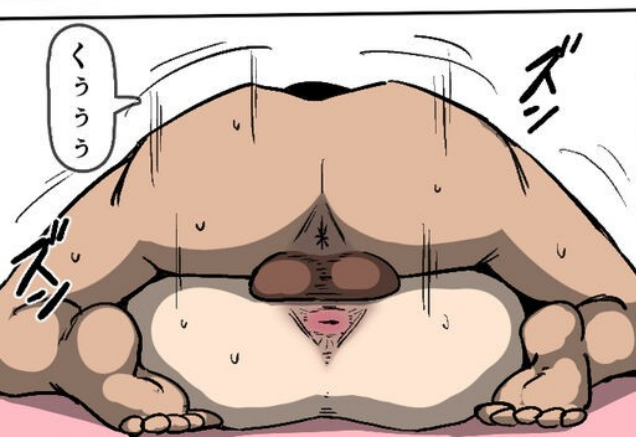
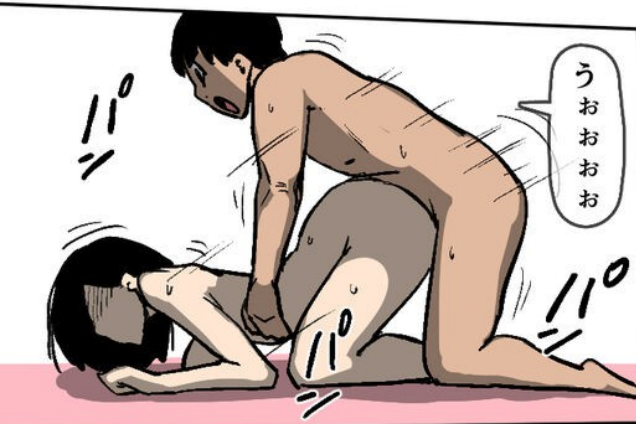
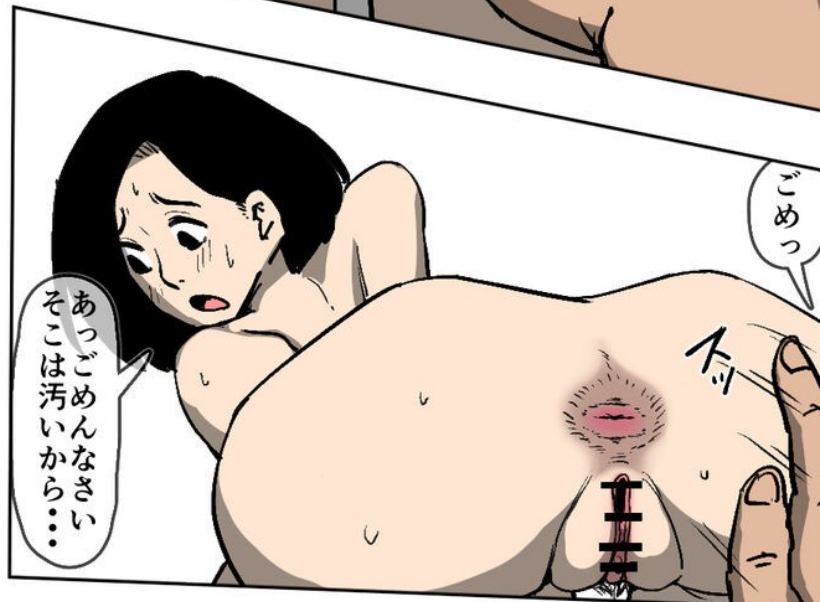
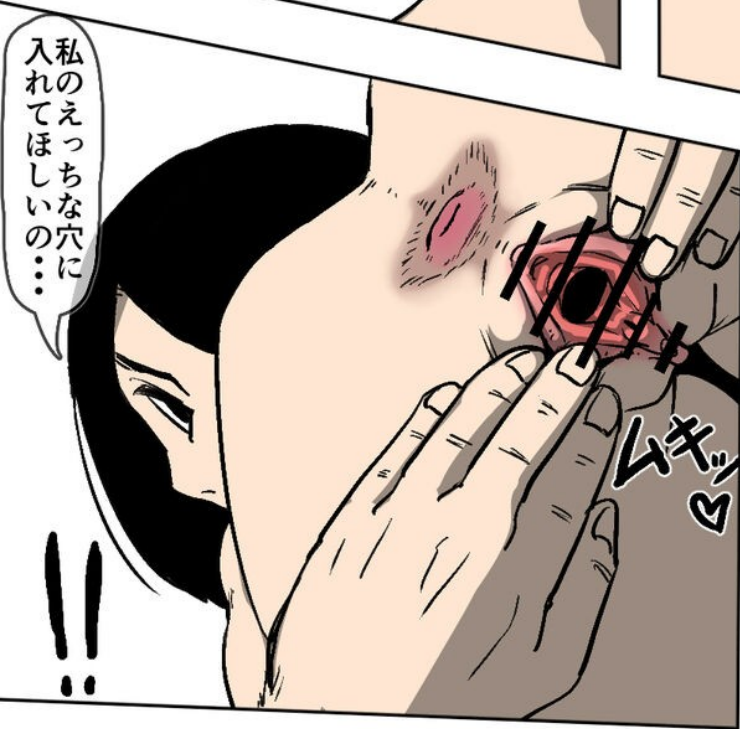
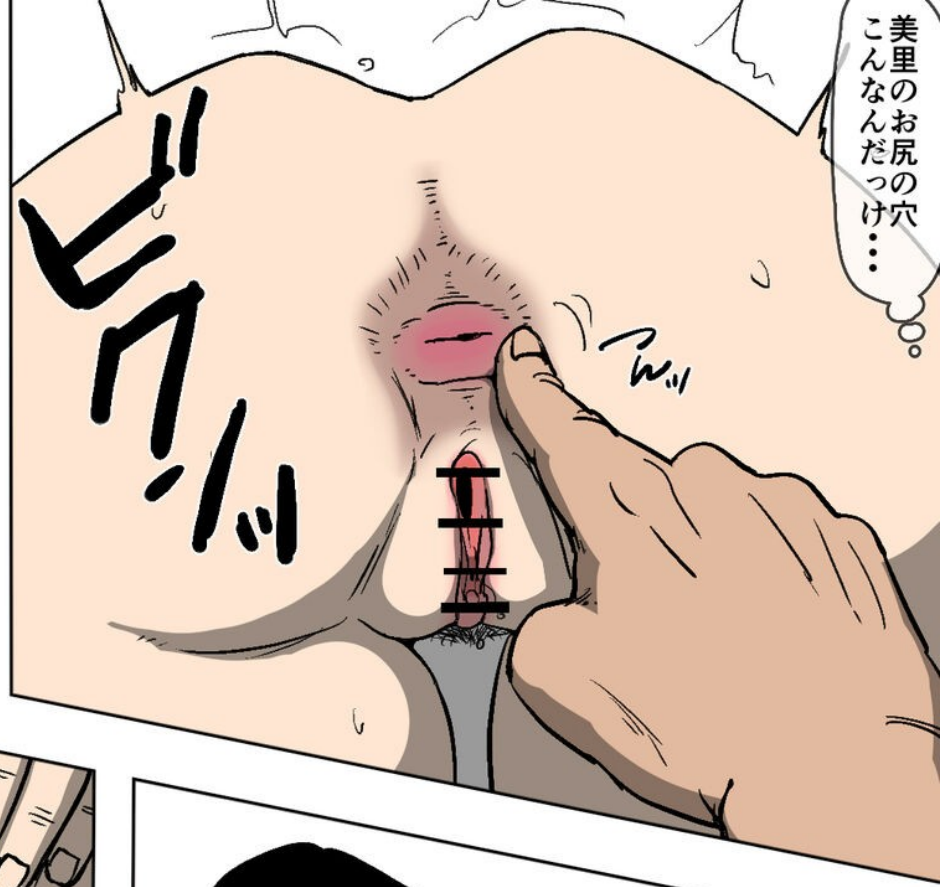
さー
お楽しみだ

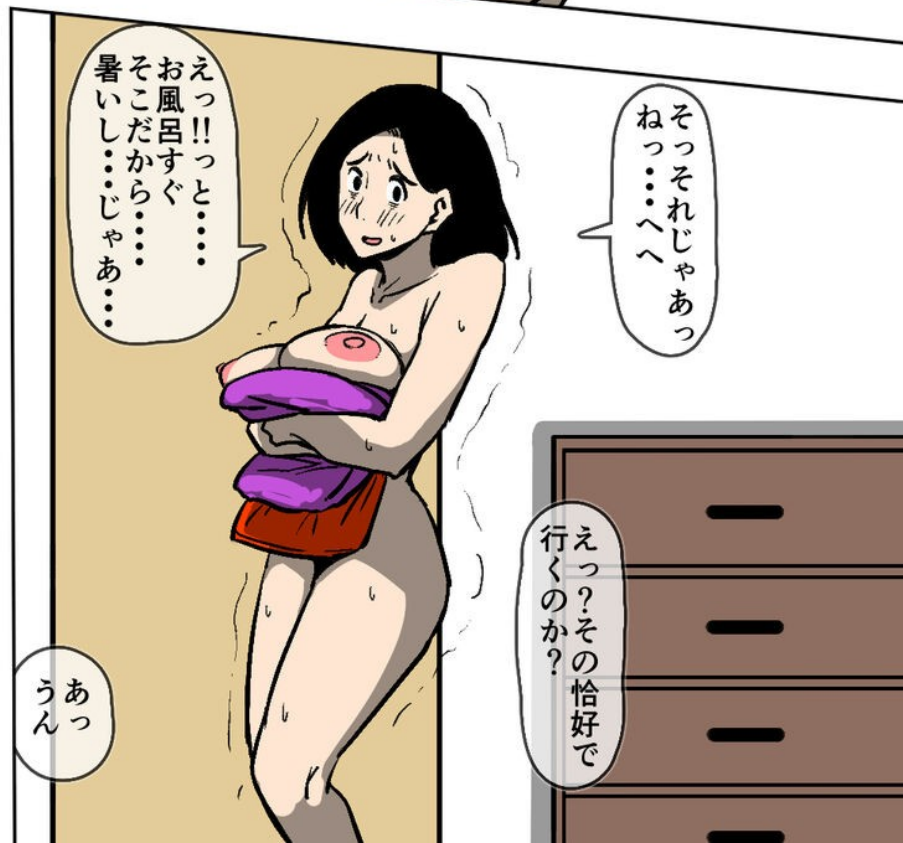
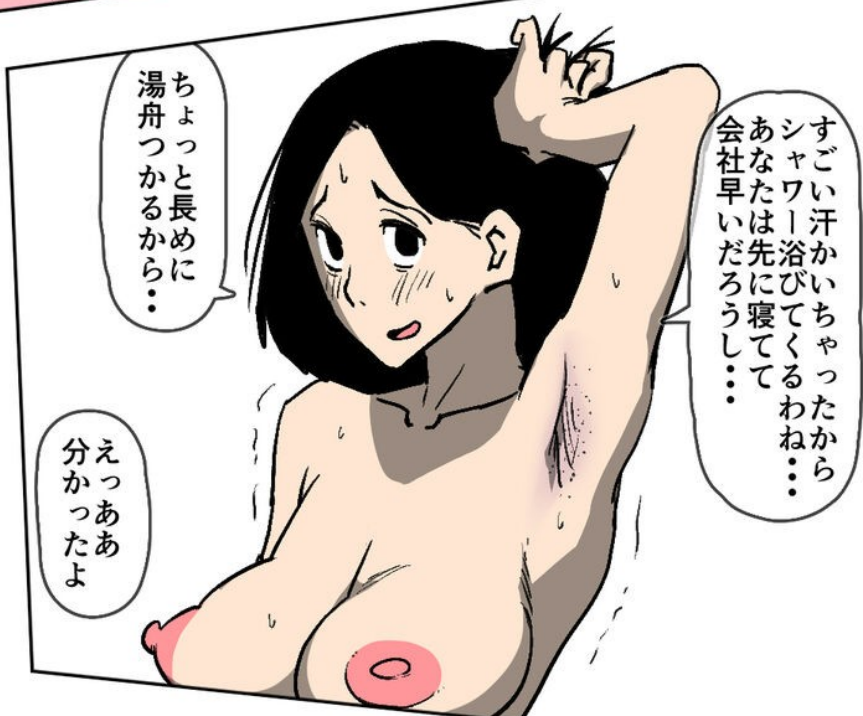
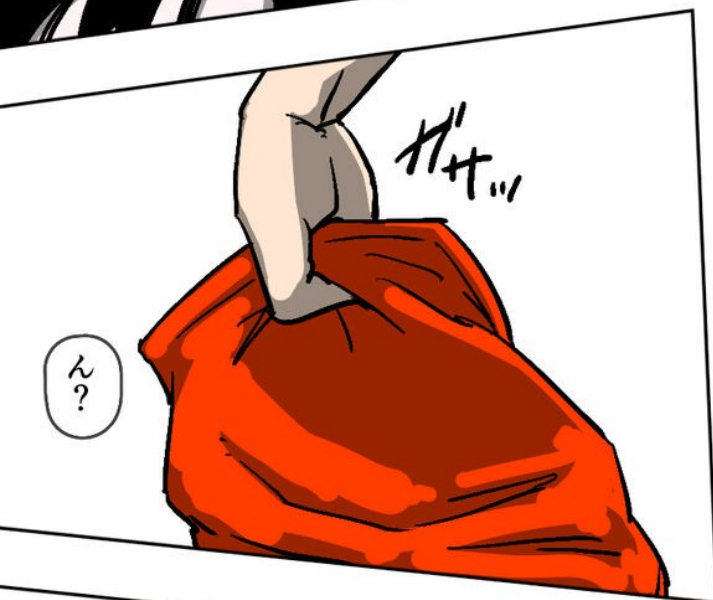
あれっなんだ
普通の恰好か…

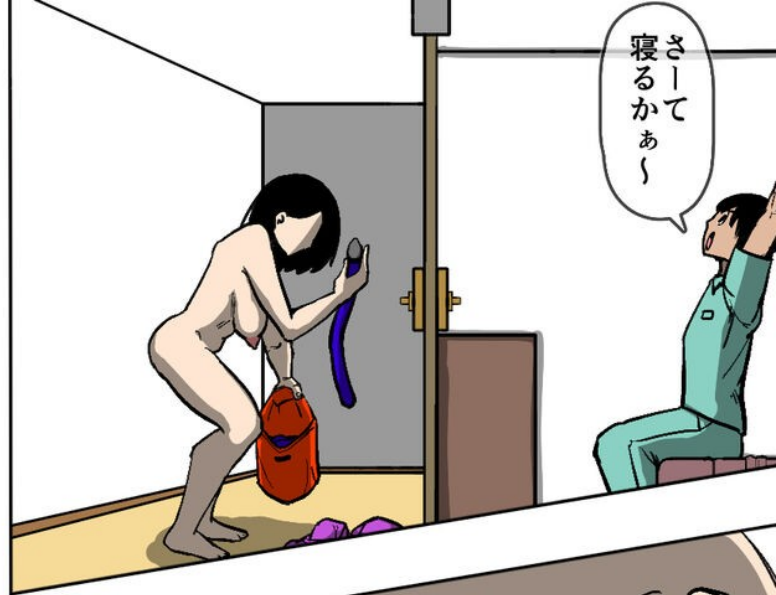
始めましよ…
コンドーム付けてね…

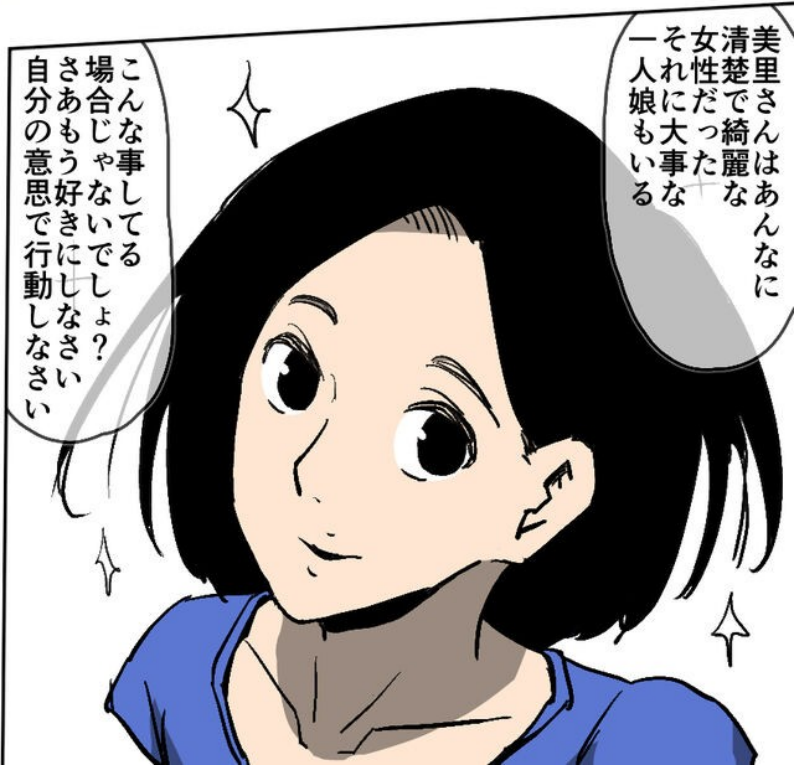
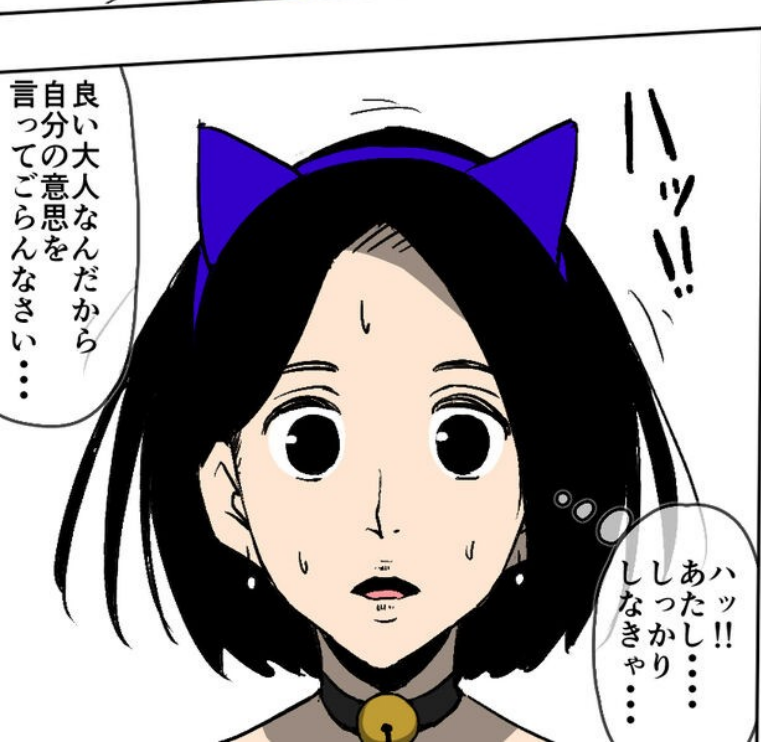
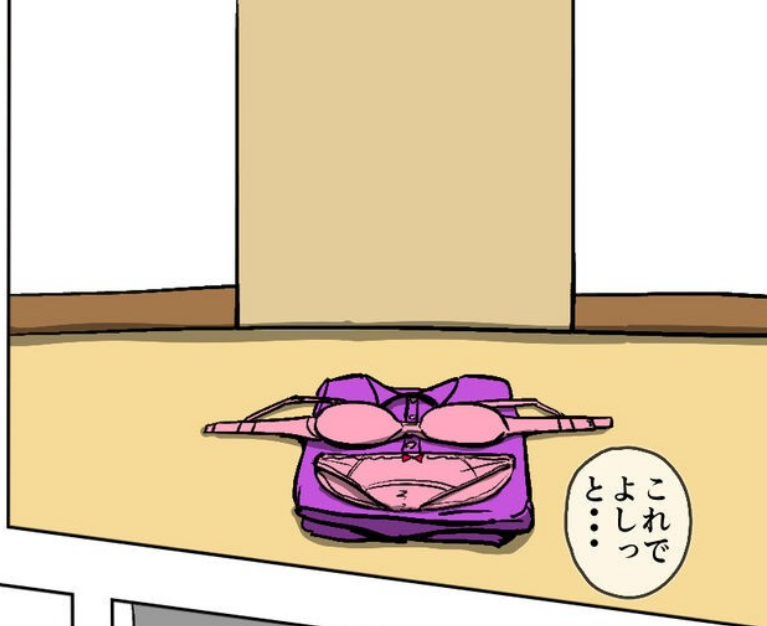
えっ？もっ
もちろんだよ

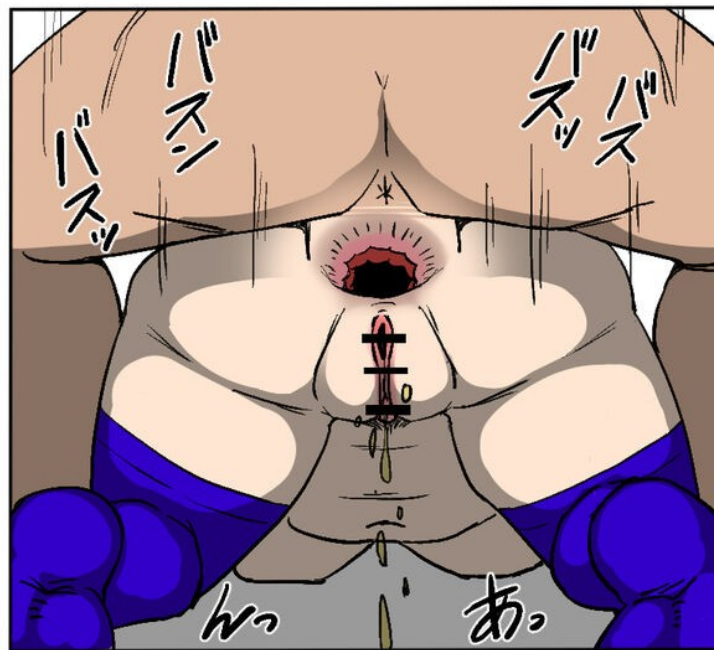
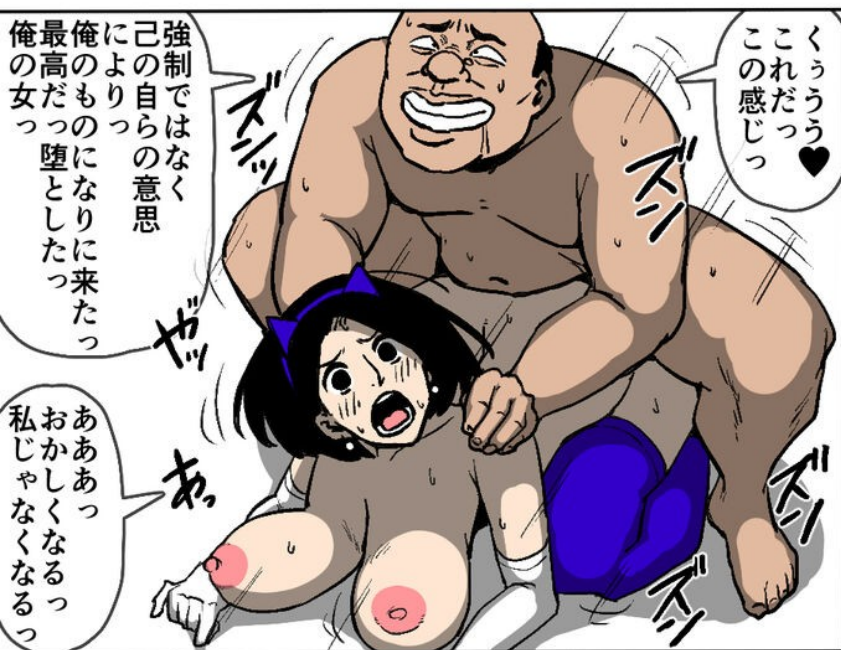
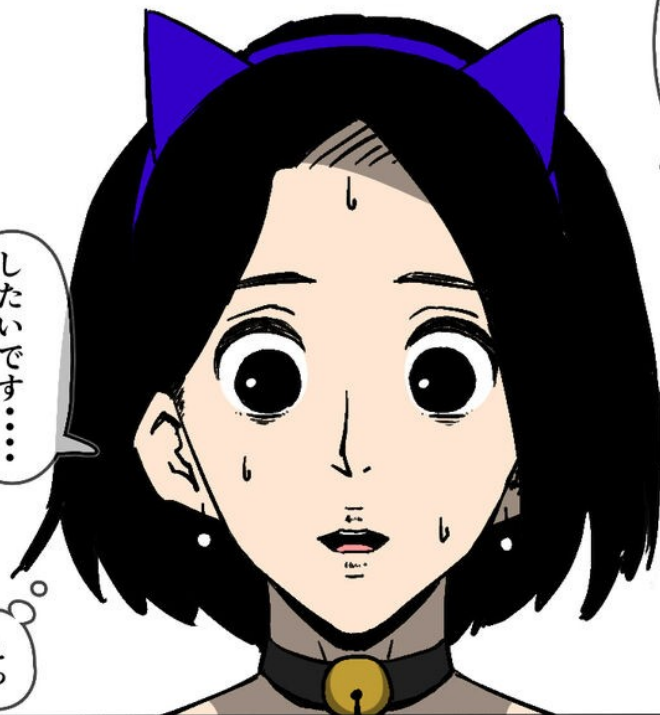
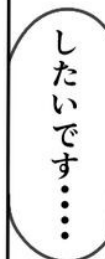


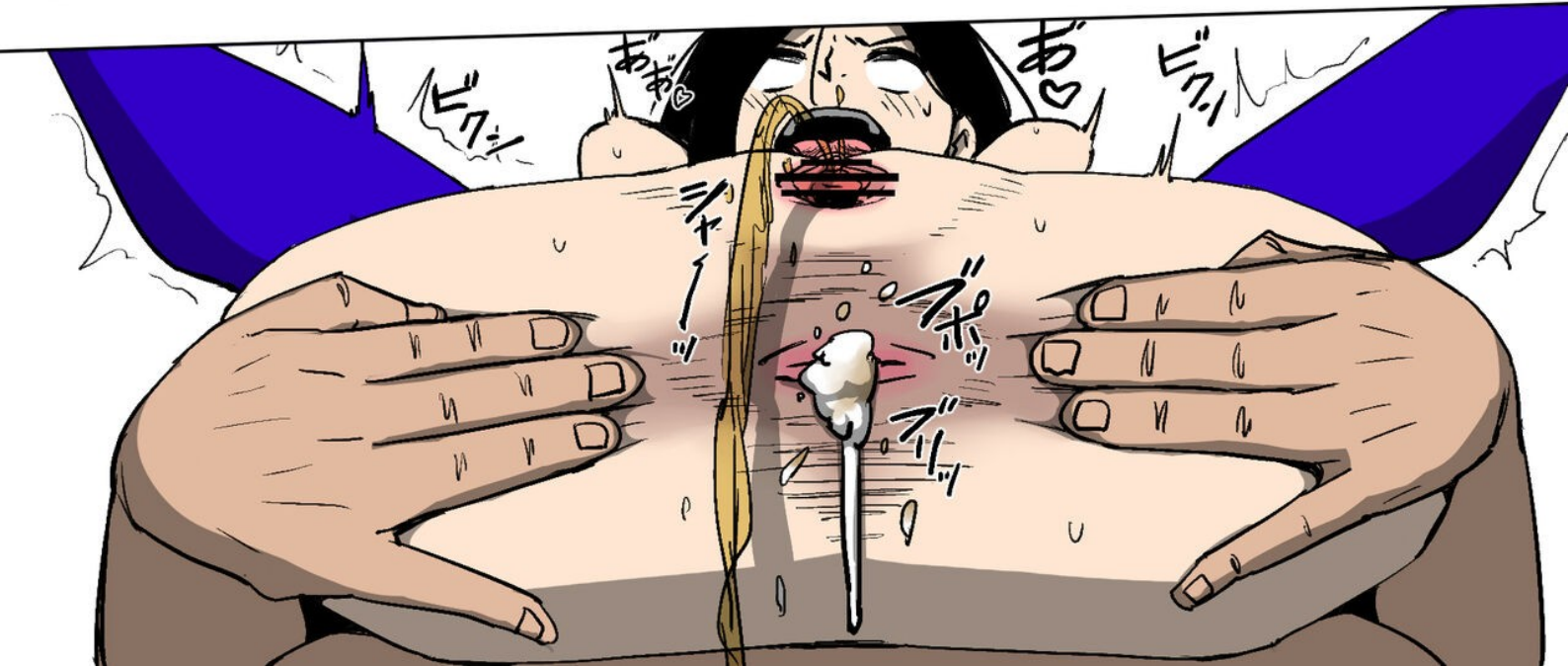
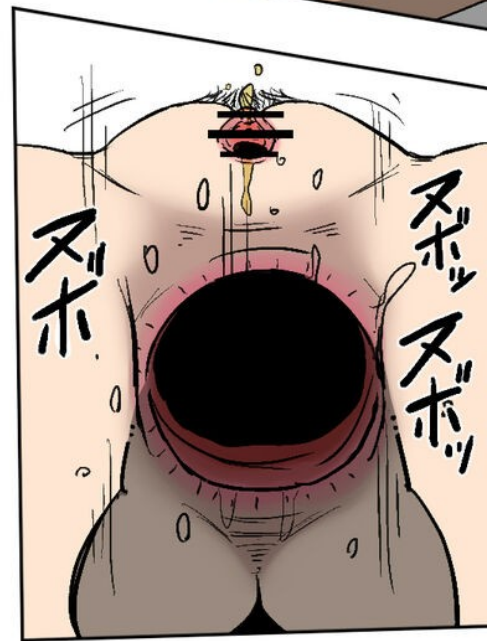
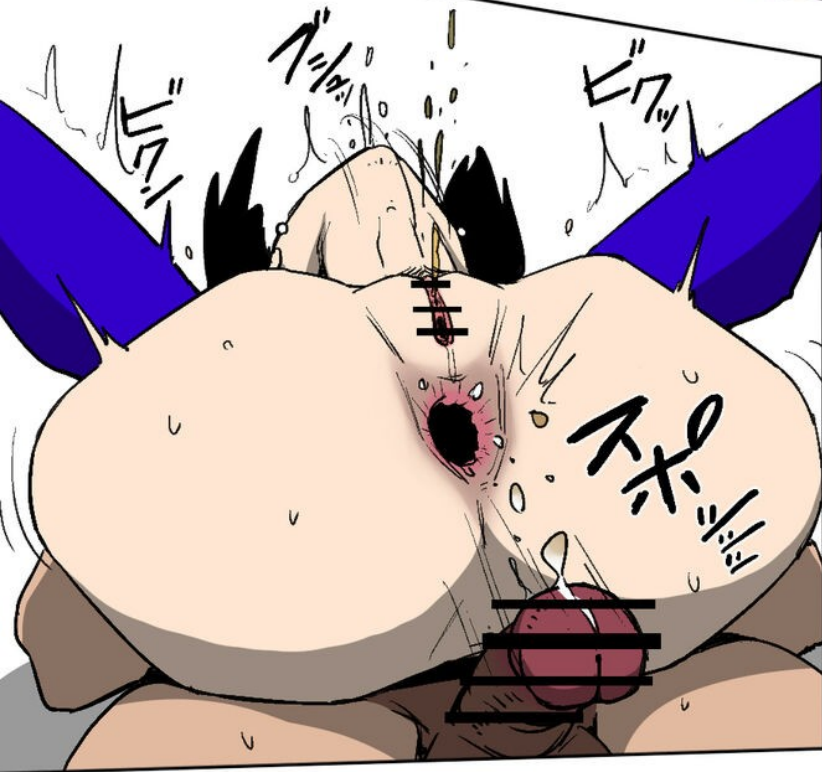
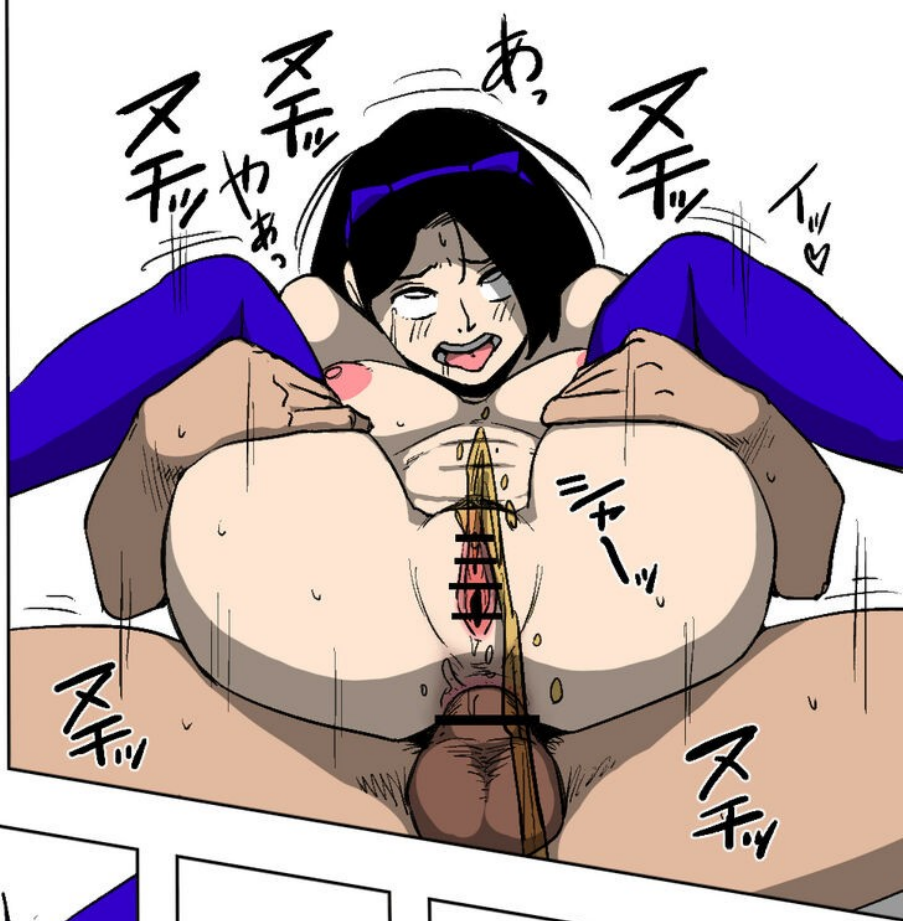




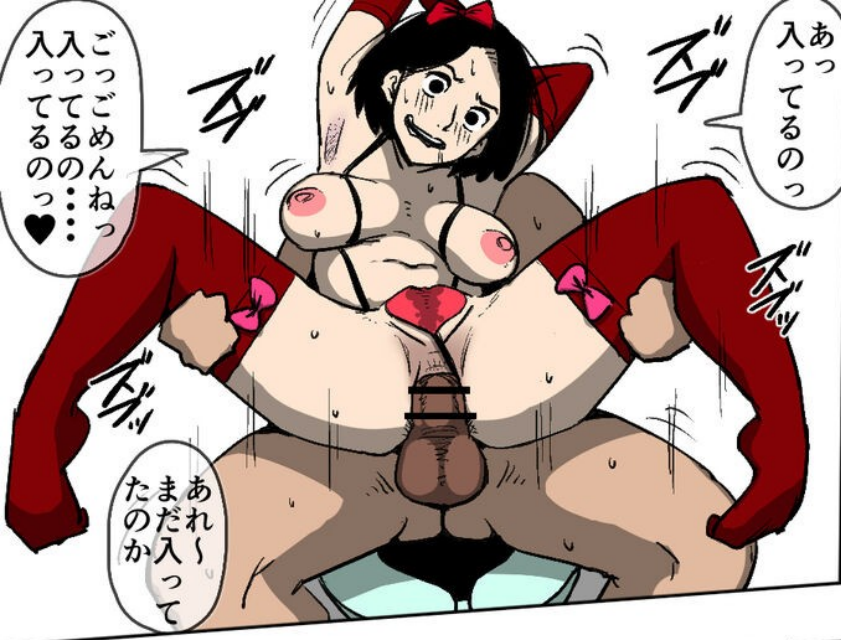
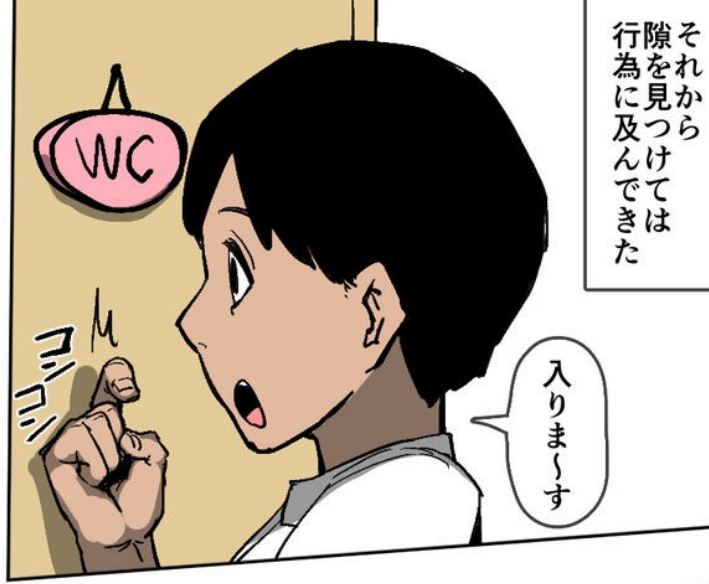




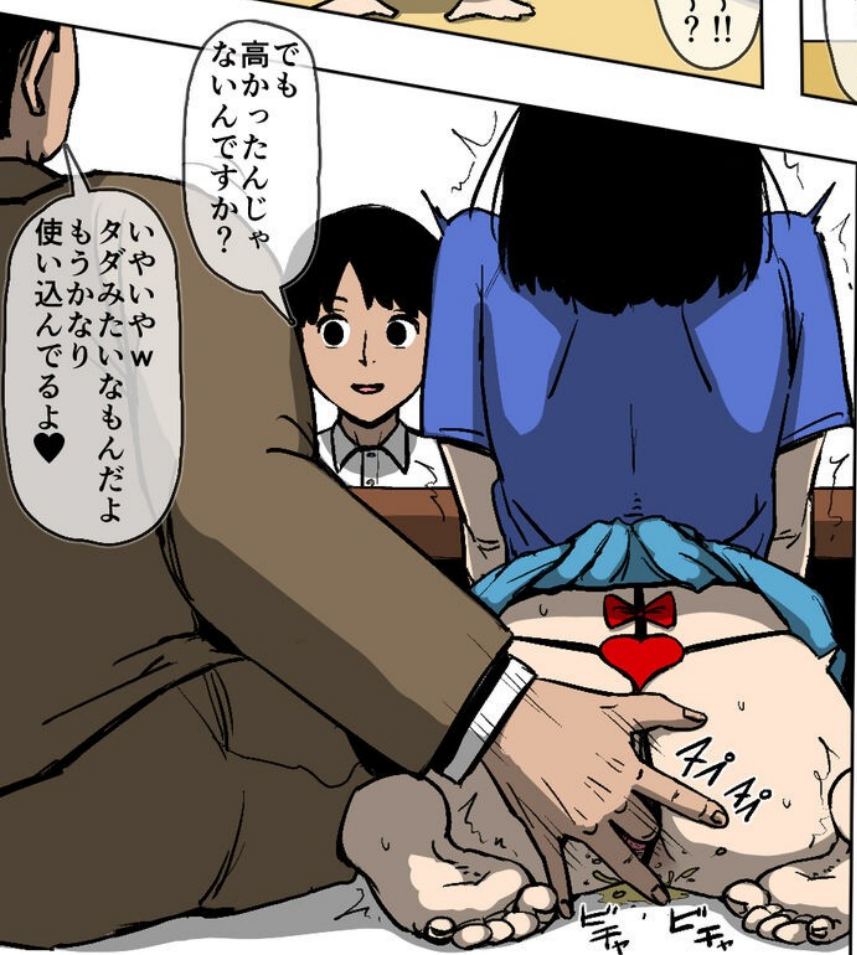
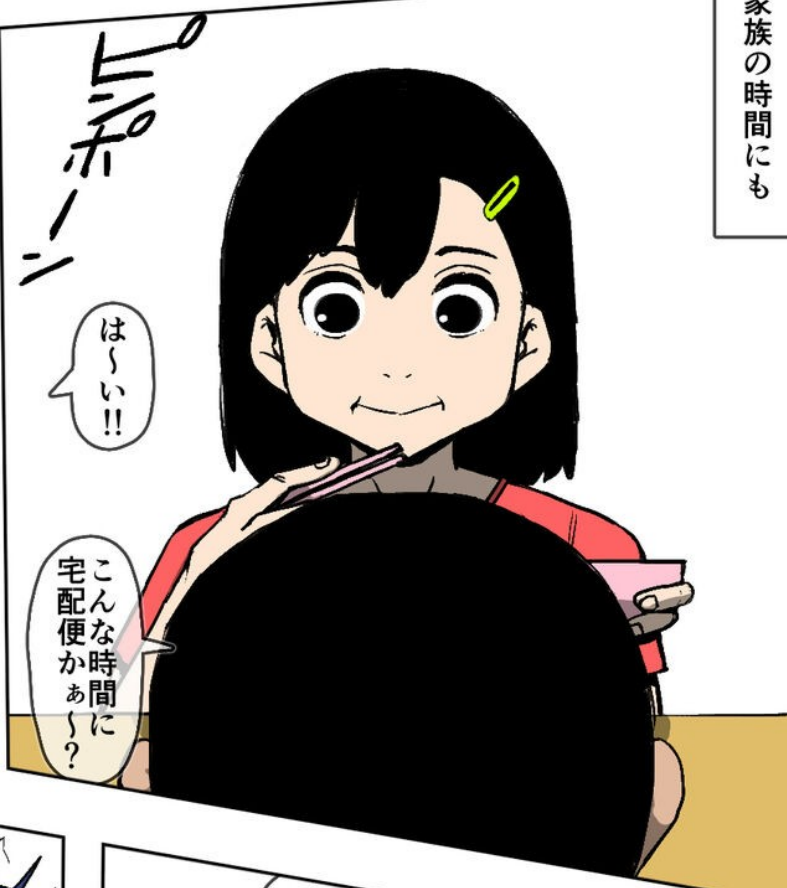




それから
隙を見つけては
行為に及んできた



家族の時間にも



最近あの男の要求は日に日にエスカレートしていきます…

おーい美里？
キッチンかなあ？

これはっ…
違うのっ…

えっ美里？

あっ

あゝ居た居た

そろそろ夫には
隠し切れなくな
ってきました…

使われてるの…
私…

あのね…

でもいいんです
事実を伝えたいのですから
END

これは…
そのっ…